

下北山村「道の駅」基本計画

2025 年3月

下北山村

目 次

1. はじめに.....	1
1.1. 道の駅整備の目的と背景.....	1
1.2. 基本計画の位置づけ	2
2. 道の駅の制度と動向.....	3
2.1. 目的と機能.....	3
2.2. 整備フロー.....	3
2.3. 設置者、登録方法.....	4
2.4. 登録要件	4
2.5. 道の駅の動向	5
3. 下北山村の現状.....	6
3.1. 立地と人口.....	6
3.1.1. 立地.....	6
3.1.2. 人口	7
3.2. 道路・交通環境	8
3.2.1. 道路環境.....	8
3.2.2. 交通量	9
3.2.3. 公共交通.....	10
3.3. 地域資源と観光	11
3.3.1. 自然・歴史文化資源	11
3.3.2. 観光の状況.....	12
3.4. 防災.....	14
4. 計画地の概要	15
4.1. 公園の概要.....	15
4.2. 施設規模の概要	16
4.3. 公園の課題.....	18
4.3.1. 施設利用者の減少	18
4.3.2. 施設情報の発信不足	18
5. 事例調査.....	19
5.1. 近隣の道の駅の概要	19
5.2. 参考となる道の駅の概要.....	25
6. ニーズ調査	29
6.1. 来訪者アンケート調査	29
6.1.1. 調査結果概要	29

6.2. 住民アンケート調査	35
6.2.1. 調査結果概要	35
7. 施設の計画	40
7.1. 既存施設の概要	40
7.2. 現況施設の機能の整理	43
8. 道の駅整備コンセプト（案）	45
8.1. 基本的な考え方	45
8.2. 道の駅に必要な機能	46
8.3. 基本コンセプト・基本方針	48
8.4. 整備イメージ	49
8.4.1. 道の駅の整備イメージ	49
8.4.2. 施設の整備イメージ	54
9. 整備・管理運営方法	58
9.1. 管理運営手法の検討	58
9.2. 管理運営業務の体制	59
10. 概算事業費等	60
10.1. 概算事業費	60
10.2. 本事業に利用可能な補助制度	61
10.3. 事業スケジュール	63

1. はじめに

1.1. 道の駅整備の目的と背景

本計画地である下北山スポーツ公園は、自然スポーツ型の余暇観光施設として整備されました。

近年、社会経済情勢等の影響もあり、施設全体の利用者は減少してきていますが、各施設とも繰り返し訪れる利用者数は増加傾向にあります。

下北山スポーツ公園の宿泊施設は、開設後 30 年を経過しており、各施設とも老朽箇所が目立ってきています。

下北山温泉「きなりの湯」は平成 10 年度には年間 173,500 人の利用客がありましたが、平成 26 年度には 68,000 人に減少し、さらに令和 4 年度には 54,000 人になり、平成 10 年度の 1/3 にまで減少しました。

今後、きなり館レストランや売店等が一体となった魅力ある施設に改善していく必要があります。また、キャンプ場はコテージやバンガローの積極的な利用促進を図っていく必要があります。

下北山スポーツ公園の管理運営については、一般財団法人下北山むらづくりセンターと指定管理協定を結んでおり、財団を主体としてサービス・接客の質向上を図る必要があります。

このほか、下北山の観光資源としては、前鬼・不動七重の滝、明神池、石ヤ塔に代表される自然やさくら祭、夏祭りなどのイベント等があります。特に平成 16 年に大峯奥駈道と「前鬼の里」が世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の一部として登録されたことから、この地域の自然がより注目を浴びるようになり、いっそうの観光振興が求められます。

池原ダム湖、七色ダム湖のバスフィッシングには、全国各地から年間約 2 万人の人が訪れています。ダム湖周辺の環境整備を進めることにより、今後もより振興を図っていく必要があります。

このような背景や本計画地周辺の地域特性等を踏まえ、本計画地を道の駅として整備するにあたっての基本的な考え方や、コンセプト、導入する機能、施設配置などを盛り込んだ「(仮称) 下北山「道の駅」基本計画」(以下、「本計画」)を策定することとします。



1.2. 基本計画の位置づけ

(1) 上位関連計画の概要

本計画は、「第三次下北山村総合計画」（平成28年3月）において『下北山スポーツ公園の整備充実と道の駅の設置』として位置づけられ、「第2期下北山村まち・ひと・しごと創生総合戦略」（令和2年3月）においては、『おもてなし対応の施設整備と人材育成一道の駅の整備』として施策に位置づけられました。

その基本的な考え方にに基づき、本計画では、基本的な考え方のさらなる検討を行い、住民意向や利用者ニーズに沿った「道の駅」の実現に向けた今後の取組みを整理するものです。

(2) 本計画の位置づけ

本計画は、「第三次下北山村総合計画」や「第2期下北山村まち・ひと・しごと創生総合戦略」等を踏まえた基本計画です。また、「奈良県南部・東部振興基本計画」、「奈良県地域防災計画」等の奈良県計画との整合を図るものです。

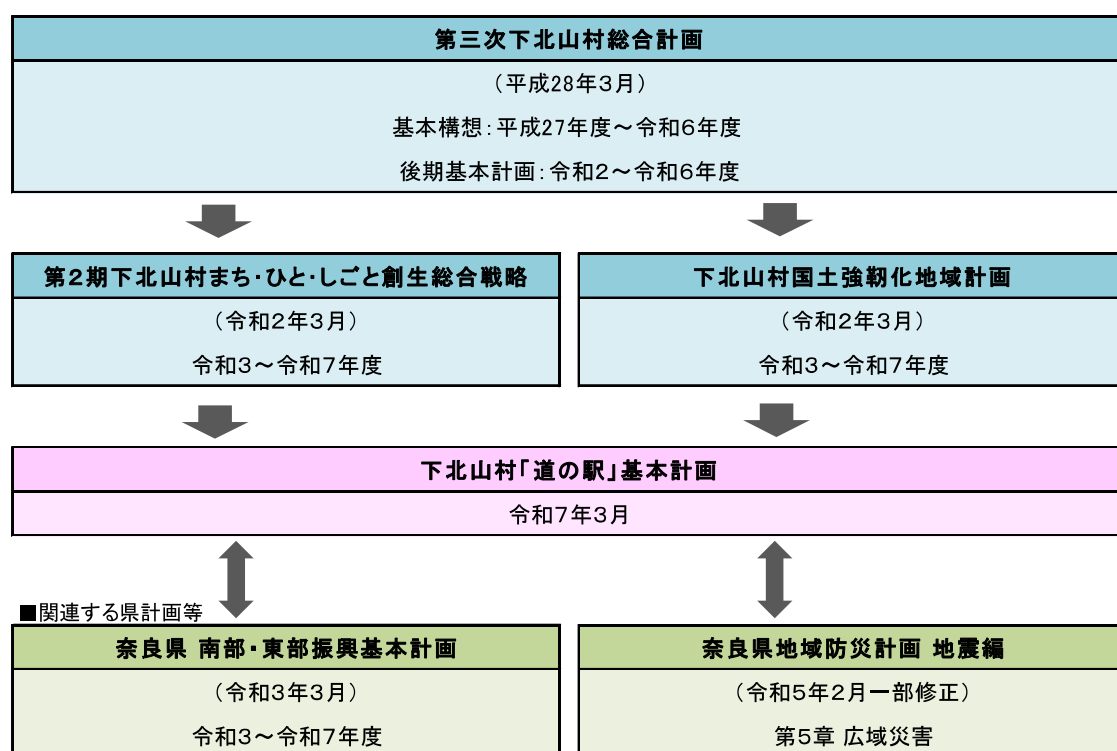


図 基本計画の位置づけ

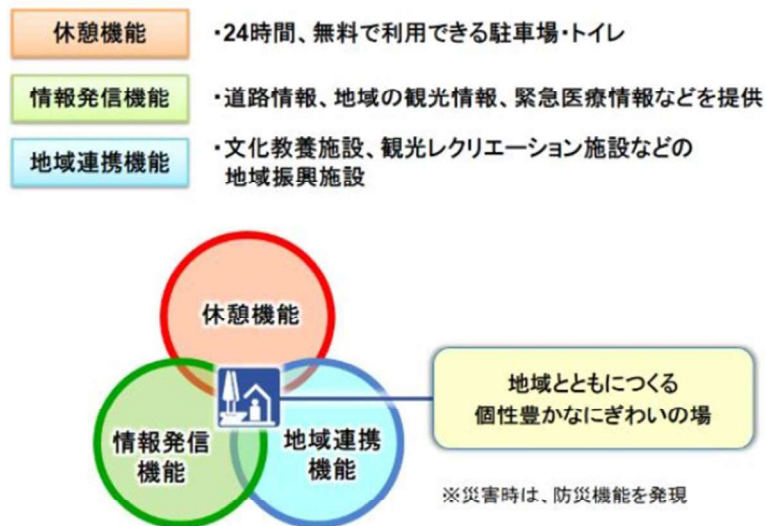
2. 道の駅の制度と動向

2.1. 目的と機能

(1) 目的

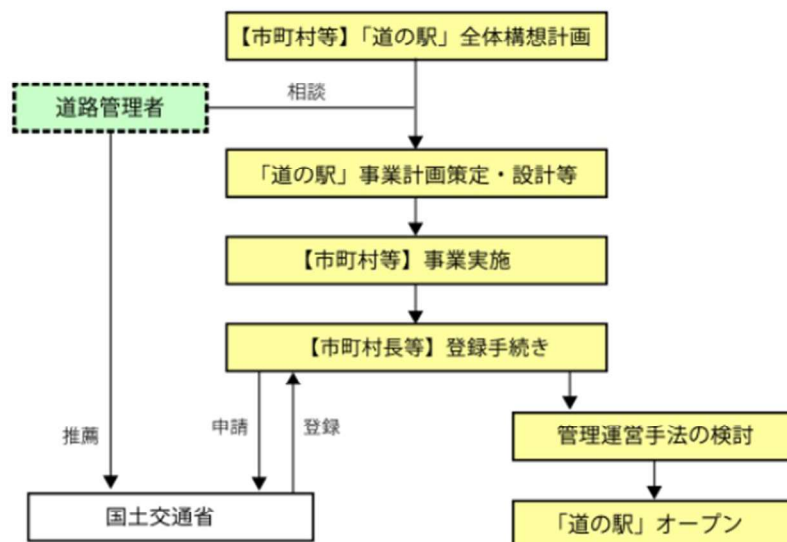
- ◆ 道路利用者へ安全で快適な交通環境の提供
- ◆ 地域の振興に寄与

(2) 求められる機能



出典：国土交通省 HP

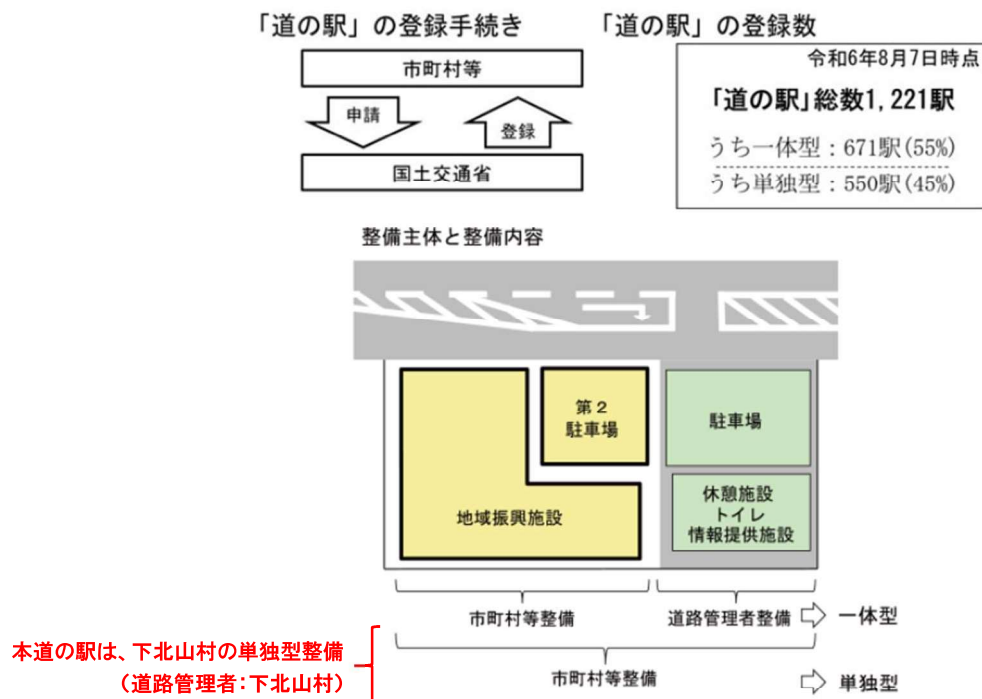
2.2. 整備フロー



出典：国土交通省 HP

2.3. 設置者、登録方法

- 「道の駅」は、市町村又はそれに代わり得る公的な団体が設置
- 登録は、市町村長からの登録申請により、国土交通省で登録
- 整備の方法は、道路管理者と市町村長等で整備する「一体型」と市町村で全て整備を行う「単独型」の2種類



出典：国土交通省 HP

2.4. 登録要件

休憩機能

- 利用者が無料で24時間利用できる
- 十分な容量を持った駐車場
- 清潔なトイレ（原則、洋式）
- 子育て応援施設（ベビーコーナー等）

情報発信機能

- 道路及び地域に関する情報を提供（道路情報、地域の観光情報、緊急医療情報等）

地域連携機能

- 文化教養施設、観光レクリエーション施設などの地域振興施設

その他

- 施設及び施設間を結ぶ主要経路のバリアフリー化

設置者

- 市町村又は市町村に代わり得る公的な団体※
※都道府県、地方公共団体が三分の一以上を出資する法人、市町村が推薦する公益法人または市町村から土地・建物の貸与を受け、市町村と管理運営についての協定を締結する法人

出典：国土交通省 HP

2.5. 道の駅の動向

道の駅は、制度発足から「通過する道路利用者のサービス提供の場」として全国各地に広がり、続いて「道の駅自体が目的地」として発展していきました。

更に2020年以降は、第3ステージとして「地方創生・観光を加速する拠点」として、新たな魅力を持つ地域づくりが進められています。道の駅第3ステージの目指す3つの姿として以下の3点が掲げられています。

- 「道の駅」を世界ブランドへ
- 新「防災道の駅」が全国の安心拠点到 ※令和3年6月11日時点：39駅（奈良県1駅）
- あらゆる世代が活躍する舞台となる地域センターに

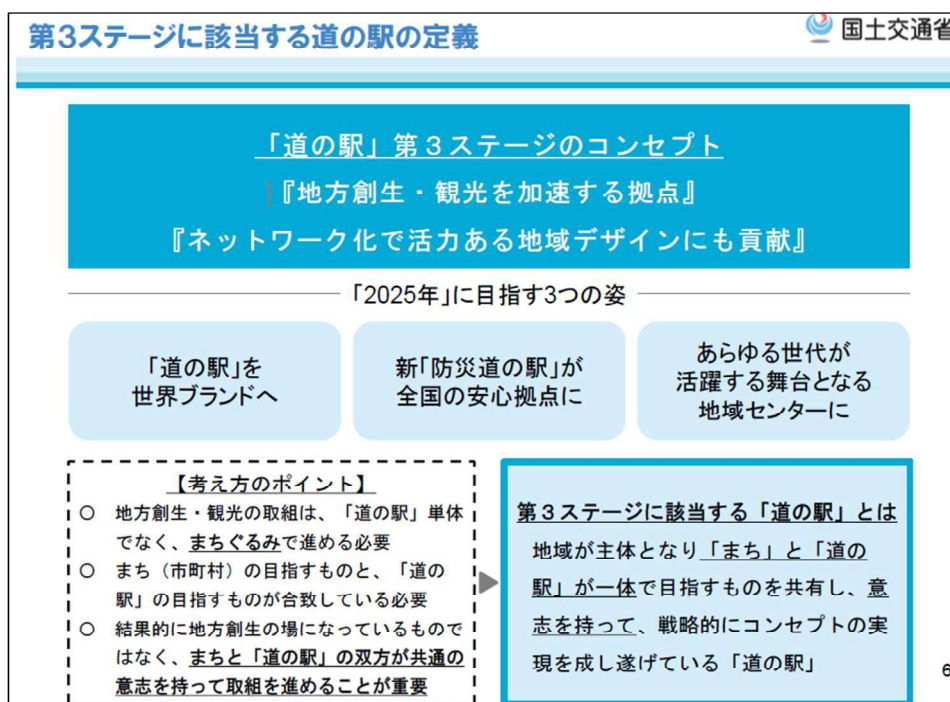


図 道の駅の第3ステージの定義

3. 下北山村の現状

3.1. 立地と人口

3.1.1. 立地

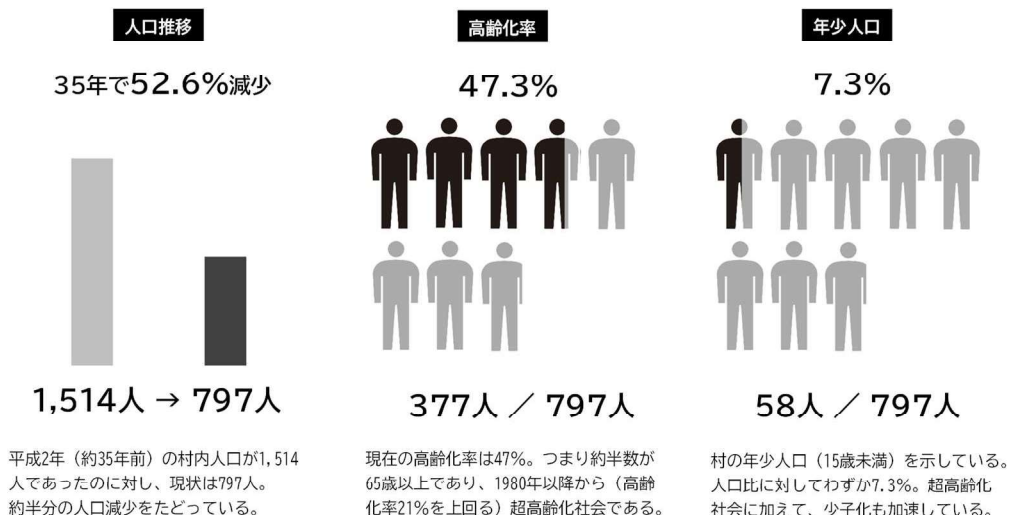
- 下北山村は奈良県南東部に位置し、北部は上北山村、南部は三重県熊野市、和歌山県北山村、西部を十津川村に接しています。
- 山中にありながら海にも近く、大阪・奈良方面から、熊野に行く際の海の玄関口となり、尾鷲・熊野方面から、大台ヶ原などに行く際にも玄関口となります。
- 地勢は四方を山に囲まれ、西境には平成 16 年に世界遺産登録された「紀伊山地の霊場と参詣道」に含まれる大峯奥駈道があり、村内の約半分が吉野熊野国立公園に指定されています。
- 村土の約 90%を森林が占めており、村ではこのかけがえのない豊富な森林によりもたらされる新鮮な空気や透き通った川、ダム湖など、さまざまな恵みを活かし、自然と共に生きる暮らしが実践されてきました。



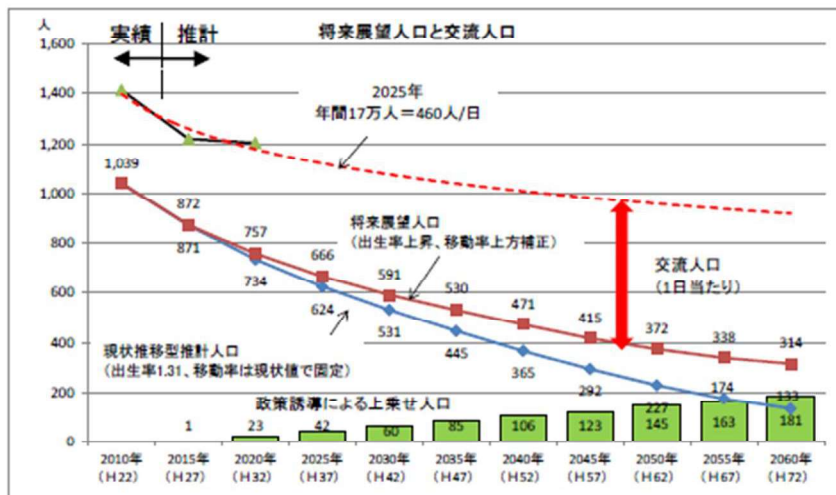
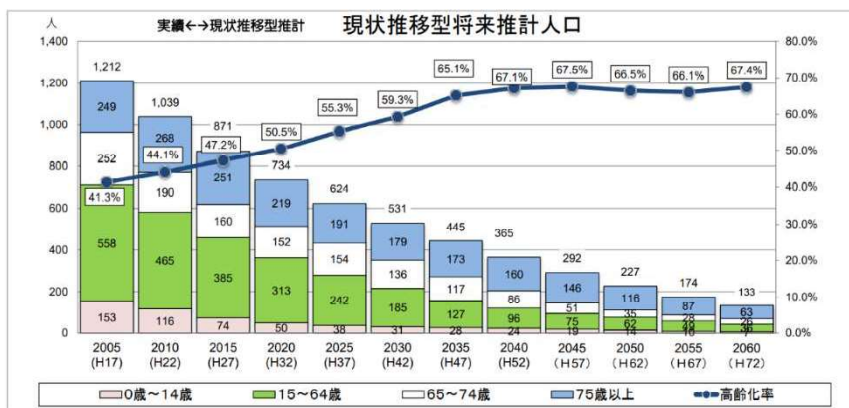
図 下北山村の位置

3.1.2. 人口

- 下北山村では人口減少が止まらず、高齢化率 47%、年少人口率 7.3%の超少子高齢化社会を迎えています。



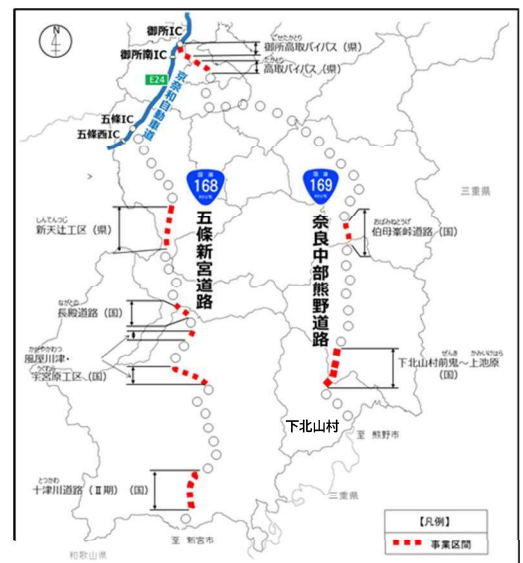
- 推計では、約 20 年後の 2040 年には現在の人口の半分以下、高齢化率は 2040 年以降 67% 前後で推移すると見込まれています。
- このような状況から、本村の資源を活かした地域活性化の取組を行った場合の交流人口の増加を目指すことを検討しています。（平成 27 年の人口ビジョンより）



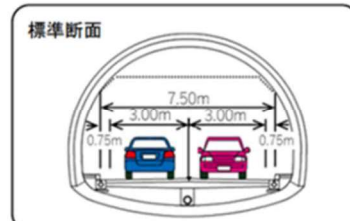
3.2. 道路・交通環境

3.2.1. 道路環境

- 国道 169 号は、令和 3 年 7 月、奈良県及び近畿ブロック版新広域道路交通計画において、高規格道路「奈良中部熊野道路」として位置付けられるとともに、令和 4 年 4 月には、重要物流道路の候補路線に指定されています。
- 国道 169 号・奈良中部熊野道路は、京奈和自動車道等と一体となって紀伊半島アンカールートを構成し、紀伊半島全体の強靱化を図るとともに、奈良県南部地域の地方創生を推進していくうえで必要不可欠な幹線道路です。
- 令和 4 年 4 月には、国から重要物流道路の計画区間に指定されました。
- 下北山村にとって、国道 169 号は京阪神と紀州地域を最短で結ぶ幹線道路であり、特に公共交通機関がなく、災害が発生した際の迂回路のない奈良県南東部地域の住民生活にとっては、まさに「命の道」となっています。
- 令和 5 年 12 月に、国道 169 号下北山村上池原において崩土被害が発生し、全面通行止めになっており、現在は奈良県において応急復旧され、仮橋での交互通行が可能になりました。本格復旧については、国の権限代行による災害復旧事業として実施することになり、令和 6 年 6 月に別線トンネルルートが決定しました。全長約 2.8km のトンネルを整備する本格復旧事業は完成までに約 5 年を要しますが、完成後はさらなる利便性が向上することが期待されます。



(構造諸元)
総延長 : 約2.9km
・土工 : 約0.1km
・トンネル : 約2.8km



出典：国土交通省近畿地方整備局公表資料（令和 6 年 10 月 4 日）

3.2.2. 交通量

- 計画地のアクセス道路となる国道 169 号の 24 時間交通量（全車上下計）は 1,012 台（推計値）、国道 425 号の 24 時間交通量は 453 台（推計値）と少ない状況です。（令和 3 年度道路交通センサス）
- 下北山スポーツ公園の前面道路は村道であり、通過交通はないため公園利用者の交通に限られるため少ない状況です。



出典：令和 3 年度一般交通調査結果 WEB マップ（可視化ツール）

3.2.3. 公共交通

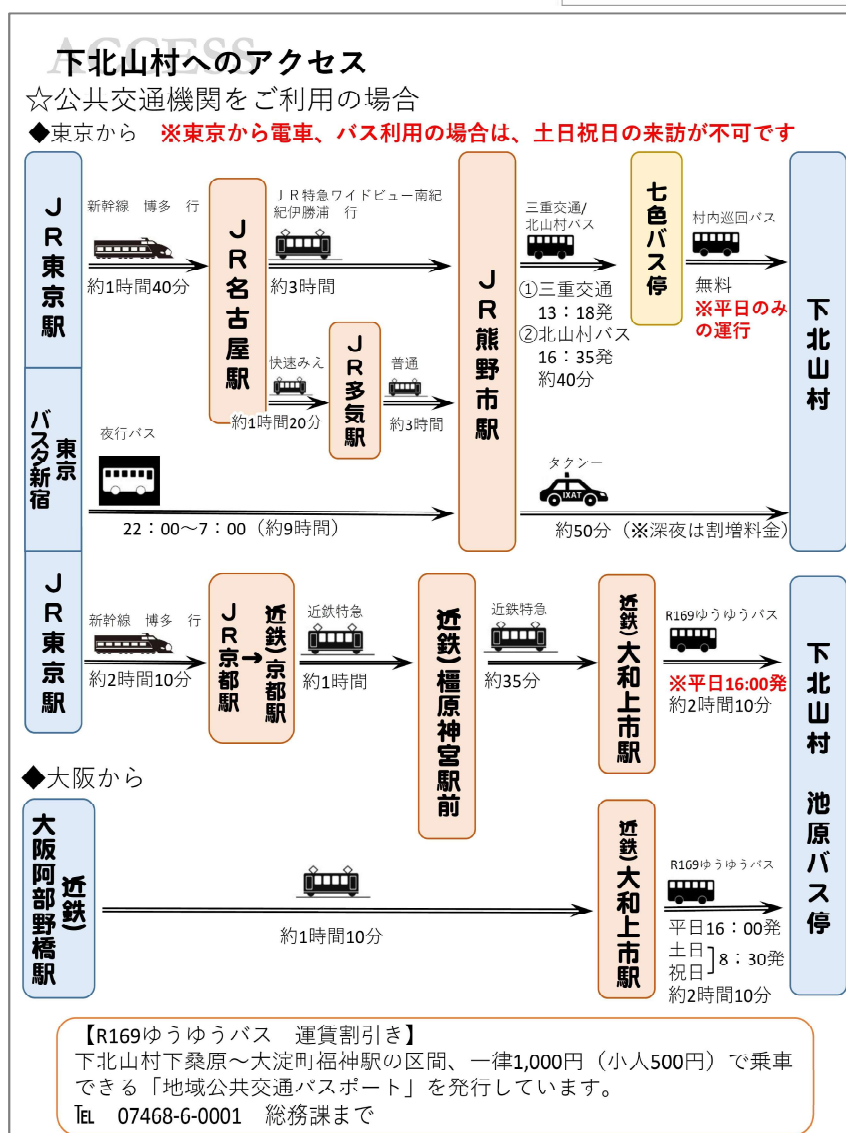
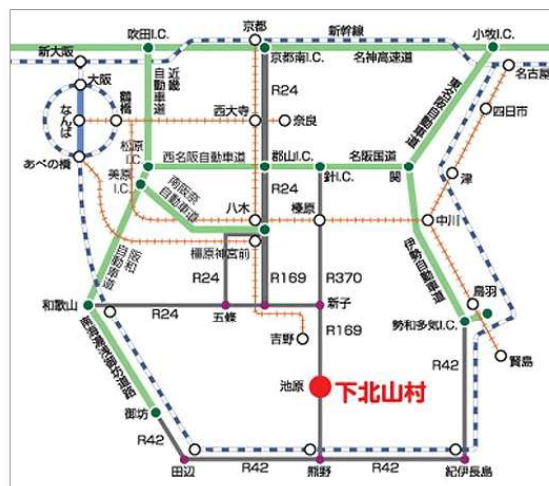
- 計画地付近を走行するバスには、近鉄大和上市駅～下北山村池原と JR 熊野市駅～七色（和歌山県）乗換～下北山村池原の2系統があり、どちらも1日1便の運行となっています。

下北山村から吉野方面（南部地域連携コミュニティバス：R169 ゆうゆうバス）

近鉄大和上市駅バス停 ～ 池原バス停

下北山村から熊野方面（村内巡回バス～熊野市バス）

JR 熊野市駅前 ～ 七色バス停 ～ 池原バス停



3.3.1. 自然・歷史文化資源

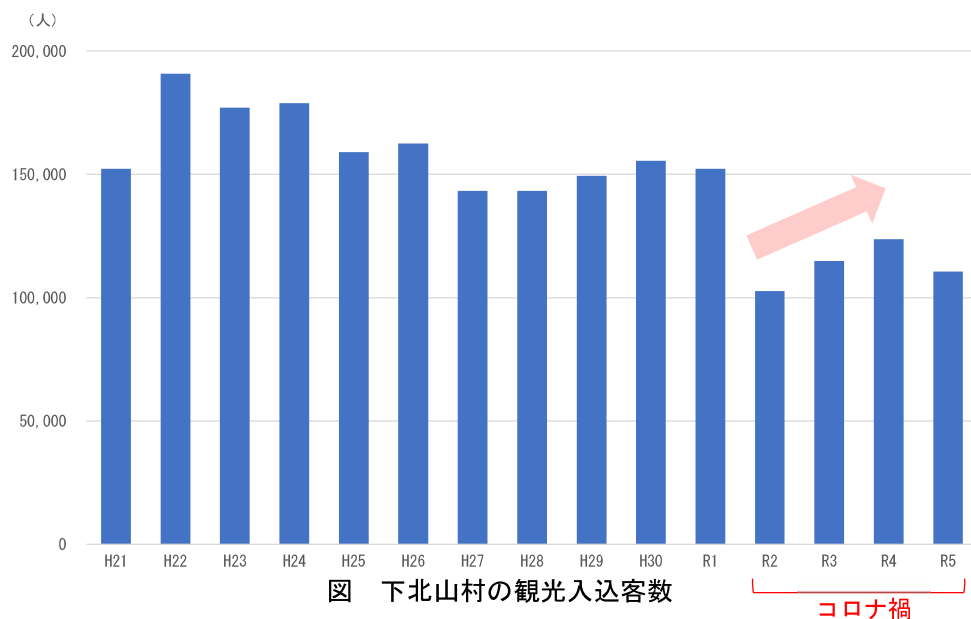
- [illegible]



3.3.2. 観光の状況

(1) 観光入込客数

- 観光入込客数では、コロナ禍前は、アウトドア志向の高まりにより徐々に増えつつありました。コロナ禍で低下したものの、現在は、徐々に回復しつつあります。
- 令和6年度は、令和5年12月の崩土災害による全面通行止めの影響（令和6年6月28日から仮橋で応急復旧）で、観光入込客数が減少しています。



(2) 公園施設の利用状況

- 下北山スポーツ公園にはキャンプ予約サイト「なっぷ」にて関西圏予約一位のキャンプ場やサッカーグラウンド等のスポーツ複合施設があり、村内には、溪流釣りや鮎・アマゴ釣り、バスフィッシング等のアウトドアを楽しむフィールドがたくさんあります。



(3) 村の特産物

- 下北山スポーツ公園の温泉施設の売店では、村の特産物（鮎、アマゴ、ジャバラ、下北春まな）を活用した加工品を販売（6次産業化への取り組み）しています。



特産物（鮎、アマゴ、ジャバラ、下北春まな）



特産物を加工（瓶詰め商品、缶詰、調味料等）



温泉施設の売店で販売

(4) 広域観光

- 奈良県、和歌山県、三重県を結ぶ道路は、紀伊半島アンカールートを構成しており、奈良県南部地域の地方創生を推進していくうえで重要な幹線道路として位置づけられています。
- 県内の主要観光地について、北部エリアと比較し、中部・南部エリアの観光入込客数の伸び率が小さい状況にあり、京奈和自動車道全線開通時には、奈良県南部エリアは 120 分圏内となり、紀伊半島全体で広域観光エリアが形成されることが期待されています。
- また、下北山村は生活圏として、紀伊半島南部の市町村（熊野市、御浜市、尾鷲市）との結びつきが強く、山間を抜けて海へ向かう観光周遊ルートの他、生活道路としても機能しています。

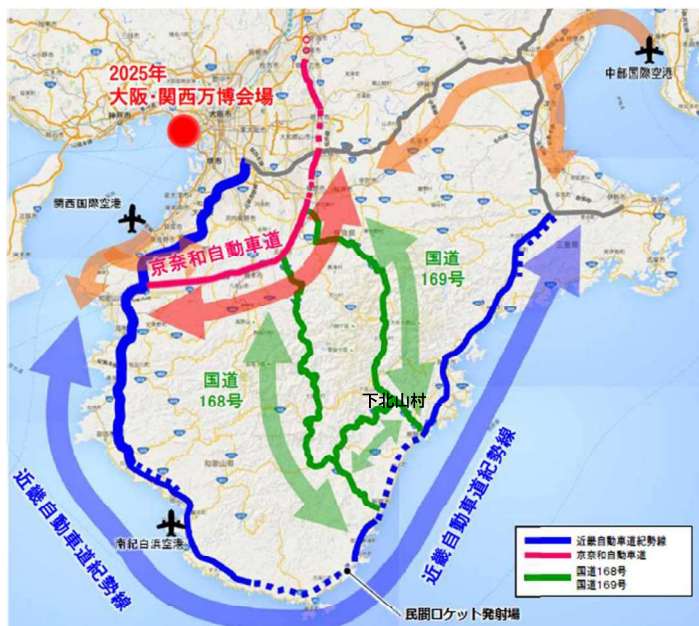


図 紀伊半島アンカールート



図 国道 169 号等の整備状況と期待される効果

出典：第 34 回紀伊半島知事会議資料（R6. 7. 16）

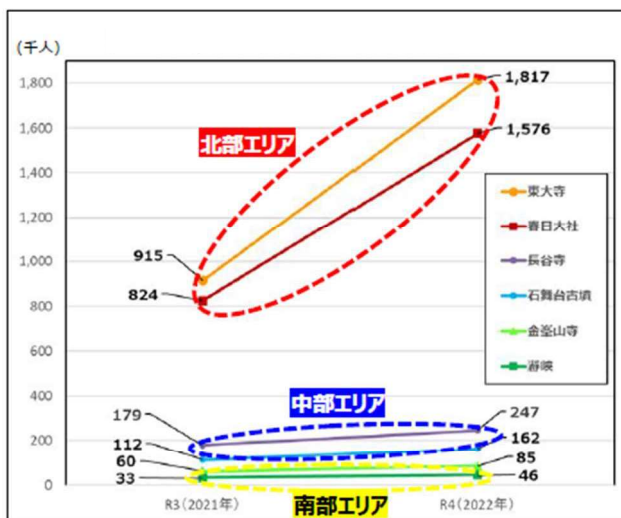


図 主要観光地のエリア別観光入込客数（対前年度比）

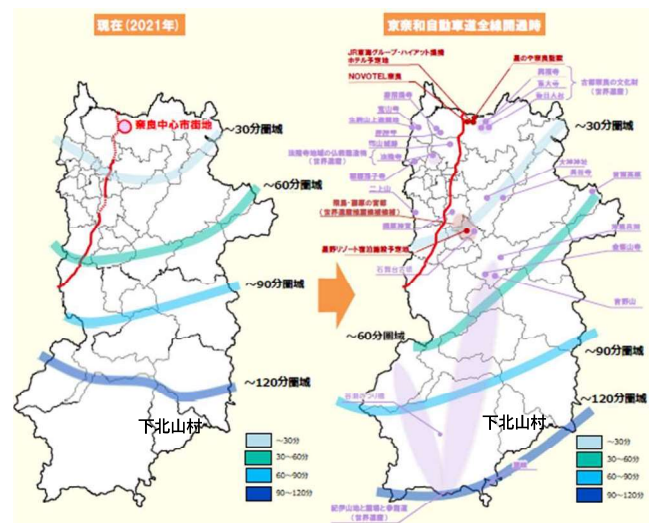
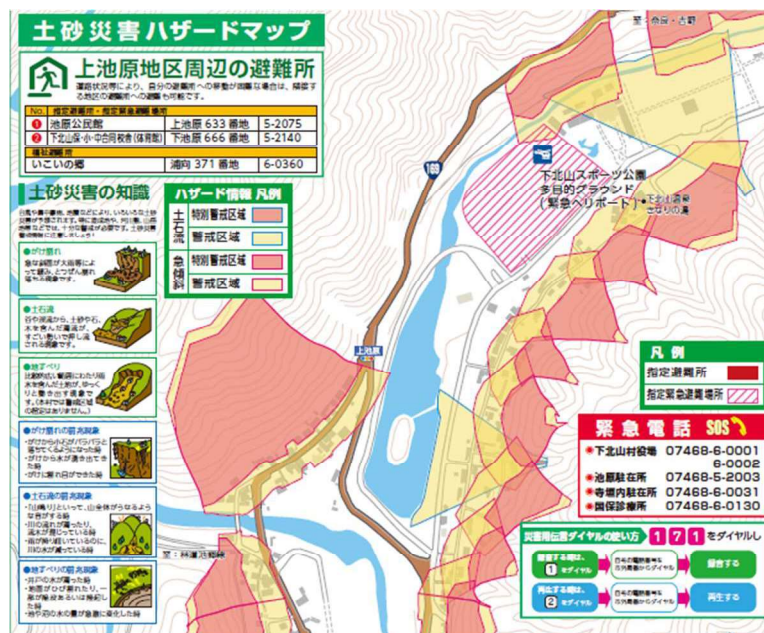


図 京奈和自動車道全線開通時の時間圏域

出典：令和 7 年度政府予算編成等に関する提案・要望（奈良県）

3.4. 防災

- 土砂災害ハザードマップでは、下北山スポーツ公園周辺は北山川に沿って、土石流・急傾斜地の警戒区域が存在します。



- 下北山スポーツ公園は、「奈良県地域防災計画」(R5.2)において、重要物流道路(代替路・補完路)に接続することなどから広域防災拠点に位置付けられ、多目的グラウンドは、指定緊急避難場所に指定されており、緊急ヘリポートの発着場となっています。
- 現在は、奈良県において県南部地域の被災地へアプローチするための活動拠点としての展開が期待されています。



出典：奈良県資料

4. 計画地の概要

道の駅計画地である下北山スポーツ公園は、ほぼ下北山村の中央部に位置しており、標高は約220mで、降雪は年に数回とほとんど積雪はありません。

またアクセスとしては、村の南北に国道169号、東南に国道425号が貫き、村内の8つの集落は、これら2つの国道と県道により結ばれています。

4.1. 公園の概要

山々に囲まれた池原ダムの西南側、旧河川敷を利用した約19万平方メートルの広大な敷地の中に、各種スポーツ施設が楽しめる下北山スポーツ公園があります。



4.2. 施設規模の概要

総面積 19 万平方メートルという広大な敷地の中に、スポーツ施設として、多目的グラウンド、人工芝グラウンド、フットサルコート、テニスコート、わんぱくランドなどのアウトドアライフが満喫できる空間があります。

表 スポーツ施設

NO.	施 設	内容及び規模
1	多目的グラウンド（全面）	陸上 400m、サッカー、野球場 2 面、ラグビー場
2	人工芝グラウンド	90×120m、サッカー場 1 面
3	池郷川グラウンド	90×120m、サッカー場 1 面
4	テニスコート	全天候コート 6 面、クレーコート 4 面
5	フットサルコート	天然芝コート 1 面
6	わんぱくランド	木製ジャングルジム、パターゴルフ場、遊具等
スポーツ施設		6 施設

宿泊施設や研修施設、温泉施設、飲食施設（レストラン）、特産品販売施設、キャンプ施設が整備されており、駐車場やトイレが完備されています。

宿泊施設の定員規模は、全体で計 387 名＋テントサイト 50 区画を有します。

表 宿泊施設、研修施設

NO.	施 設	内容及び規模	
1	宿泊やすらぎ	宿泊施設：定員 53 名	計 123 名
2	ロジックの木	宿泊施設、バーベキュー場：定員 70 名	
3	若者センター	中研修室、小研修室、ふれあいの間	
4	ふるさと伝習館	ホール（舞台付）	
5	屋外ステージ	イベント会場	
6	さくらステージ	イベント会場	
宿泊施設、研修施設			計 6 施設（定員：123 名）

表 温泉施設、飲食施設、販売施設

NO.	施 設	内容及び規模
1	きなりの湯	温泉施設 平日：15:00～20:45、土日・祝日：11:00～20:45 （定休日：毎週火曜日）
2	きなり館	飲食施設（レストランきなり亭） 11:30～20:45（定休日：毎週火曜日）
3	地元特産品直売所	地元特産品等の販売施設 南朝みそ、下北春まな漬、まなうどん、まなチョコ、 下北山村茶、ジャバラ飴、吉野杉の割箸等
4	売店 （キャンプ場センターハウス）	キャンプ用品等の販売施設 氷、紙コップ、割りばし、スプーン、フォーク、洗剤、 スポンジ、燃料等
温泉施設、飲食施設、販売施設		計 4 施設

表 キャンプ場（コテージ・ロッジ・ヒュッテ）

NO.	施 設	内容及び規模
1	Eコテージ：3棟	12名用 寝具、トイレ、テーブル、冷蔵庫、流し台、カセットコンロ、ユニットバス
2	Bコテージ：1棟	8名用 寝具、トイレ、テーブル、冷蔵庫、流し台、カセットコンロ、シャワー室
3	Aコテージ：2棟	6名用 寝具、トイレ、テーブル、冷蔵庫、流し台、カセットコンロ、シャワー室
4	Cコテージ：5棟	5名用 トイレ、テーブル、冷蔵庫、流し台、カセットコンロ
5	オートロッジ：10棟	4名用 寝具、テーブル、テラスに流し台、屋外にカマド
6	ヒュッテ：1棟	30～40名用 畳50畳（寝具なし）
キャンプ場（コテージ・ロッジ・ヒュッテ）		計22棟（定員：161名）

表 キャンプ場（テントサイト）

NO.	施 設	内容及び規模
1	フリーサイト ：20区画（40張）	共同炊事場、共同トイレ、共同シャワー棟
2	区画サイト（AC電源なし） ：18区画	
3	区画サイト（AC電源付） ：12区画	
キャンプ場（テントサイト）		計50区画

表 キャンプ場：平成の森（バンガロー、コテージ）

NO.	施 設	内容及び規模
1	Aタイプバンガロー：5棟	4名用 寝具、トイレ、冷蔵庫、流し台、カセットコンロ、ユニットバス
2	Bタイプバンガロー：5棟	4名用 寝具、流し台、カセットコンロ
3	Cタイプバンガロー：5棟	3名用 寝具
4	平成の森コテージ：3棟	16名用 寝具、トイレ、冷蔵庫、流し台、カセットコンロ、ユニットバス
キャンプ場（バンガロー・コテージ）		計18棟（定員：103名）

4.3. 公園の課題

4.3.1. 施設利用者の減少

下北山スポーツ公園は、駐車場やトイレ等の完備の他、国道 169 号の利用者がひと時の休憩をとる「きなり館（きなりの湯）」が整備されていますが、平成 10 年に比べ利用者が約 1/3 数に減少しています。

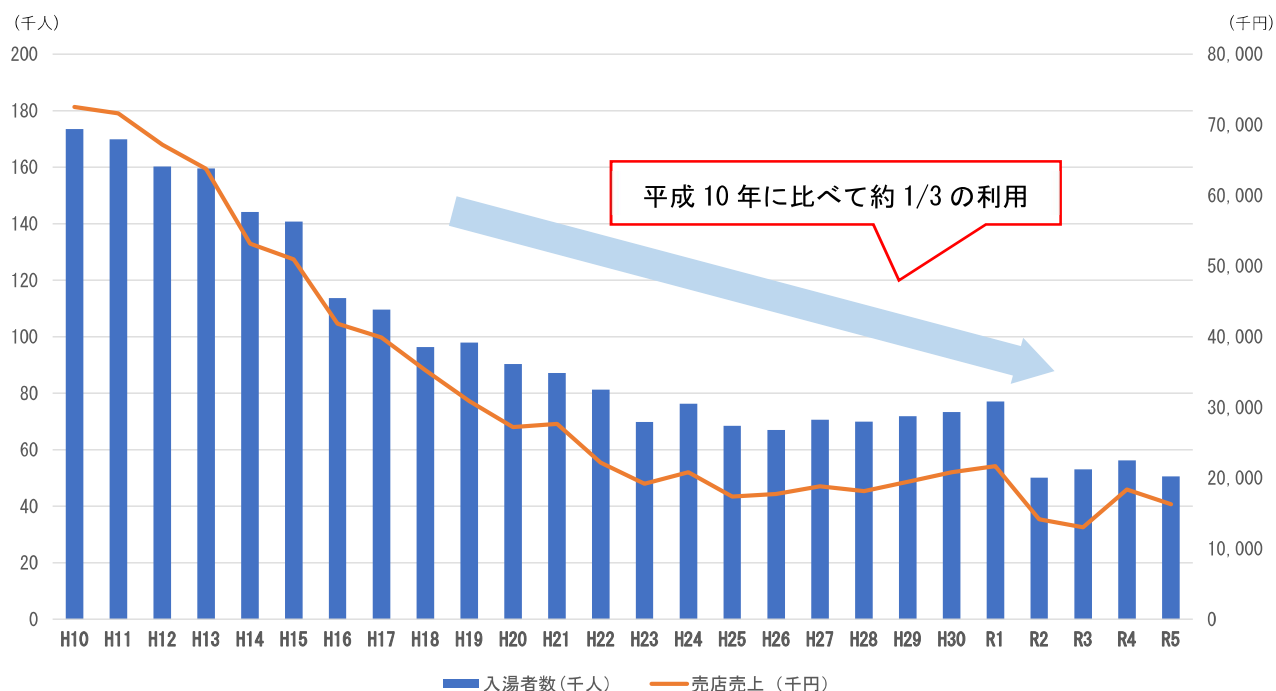


図 温泉入湯者数・売店売上

4.3.2. 施設情報の発信不足

下北山スポーツ公園は、集客拠点でありながら、自らの情報発信力が弱く、また来訪者への情報発信機能も乏しい状況です。

- 村単独では、観光地としての魅力発信ができていない。
- 道路情報や観光情報が発信できる環境でありながら、きめ細やかな道路状況や観光情報を発信できていない。
- 奈良県の南の玄関口として、広域的な道路利用者への観光案内情報が乏しい。



図 来訪者への道路案内（標識、サイン）

5. 事例調査

5.1. 近隣の道の駅の概要

- 道の駅は、令和6年8月7日現在で、1,221駅が登録されています。そのうち奈良県内には17駅、隣接する和歌山県には36駅、三重県には18駅あります。
- そのうち近隣の道の駅としては、国道169号沿線に3箇所、国道168号沿線に2箇所、国道24号沿線に1箇所、国道311号に1箇所、国道42号に2箇所あります。
- 国道169号沿いの道の駅は山間地を移動する道路利用者にとって、休憩場所、情報収集場所として、重要な施設となっています。規模的には駐車台数は100台以下、トイレは20器以下と比較的小規模な施設が多い状況です。
- 道の駅に隣接して、住民利用の多い役場等の公共的施設、コンビニや飲食店・宿泊施設、レジャー施設が併設され、民間施設との連携が見られる状況です。

表 近隣の道の駅の一覧

位置	道の駅名称	施設概要	駐車台数	トイレ
R169 川上村	杉の湯川上	・直売所, 麺コーナー ・毎日曜に朝市開催 ・温泉ホテル, レストランが隣接	54 台 ・大型 4 台 ・普通 50 台	18 器 (うち 1 器は 多機能)
R169 上北山村	吉野路上北山	・直売所 ・コンビニ(ヤマザキショップ) ・温泉が隣接	53 台 ・大型 2 台 ・普通 51 台	18 器 (うち 1 器は 多機能)
R168 十津川村	十津川郷	・コンビニ(ヤマザキショップ) ・そば処 ・足湯, 毎日曜に朝市開催, 屋台等	25 台 ・大型 2 台 ・普通 23 台	16 器 (うち 1 器は 多機能)
R168 五條市	吉野路大塔	・直売所 ・温泉, 天文台, プラネタリウム館, 本陣跡, 郷土館, 食事処, 土産物屋, バンガロー, ロッジ, キャビンが 隣接	24 台	14 器 (うち 1 器は 多機能)
R169 北山村 (和歌山県)	おくところ	・観光案内所兼筏下り受付 ・温泉, レストラン, 売店 ・コンビニ(ヤマザキショップ), バンガロー, キャン プ場, ラフティング受付, ソフトクリーム屋が隣接	89 台 ・大型 7 台 ・普通 82 台	15 器 (うち 1 器は 多機能)
R24 熊野市 (三重県)	熊野きのくに	・直売所: 土日祝日のみ営業	20 台 ・大型 3 台 ・普通 17 台	8 器 (うち 1 器は 多機能)
R311 熊野市 (三重県)	熊野・板屋 九郎兵衛の 里	・直売所, ラーメン店 ・熊野市役所紀和総合支社が隣接 ・熊野市紀和 B&G 海洋センター(総合体育施設(温水 プール))が隣接	41 台 ・大型 3 台 ・普通 38 台 (EV 対応)	13 器
R42 熊野市 (三重県)	熊野・花の 窟	・直売所(営業時間: 10~16 時) ・軽食コーナー(お綱茶屋) ・休憩所, 資料コーナー ・コンビニ(ファミマ) 隣接 ・国史跡「花の窟」隣接	28 台 ・大型 3 台 ・普通 25 台 (EV 対応)	7 器
R42 御浜市 (三重県)	パーク七里 御浜	・直売所, レストラン ・ショッピングセンター(モールピネ)併設: 屋上ド ッグラン, サイクルラック, スポーツジム, シャワ ー室(自転車、車中泊の人利用可) ・ホテル隣接	282 台 ・大型 14 台 ・普通 266 台 ・車椅子 2 台	7 器 (うち 1 器は 多機能)

位 置	道の駅名称	施設概要	駐車台数	トイレ	備 考
R169 川上村	杉の湯川上	・直売所 ・麺コーナー ・毎日曜に朝市開催 ・温泉ホテル、レストランが隣接 ・村役場、銀行、郵便局が隣接	54 台 ・大型 4 台 ・普通 50 台	18 器 (うち 1 器 は多機能)	
・ 外観  ・ EV 駐車場  ・ トイレ (スロープ)  ・ 麺コーナー  ・ おみやげ屋入口  ・ 隣接する温泉ホテル 					
位 置	道の駅名称	施設概要	駐車台数	トイレ	備 考
R169 上北山村	吉野路上北山	・直売所（生鮮：冷凍ジビエ） ・コンビニ（ヤマザキショップ） ・2 階レストランは休店中 ・温泉が隣接	53 台 ・大型 2 台 ・普通 51 台	18 器 (うち 1 器 は多機能)	下北山村か ら、約 17km 約 25 分
・ 外観  ・ 川の対岸にある温泉施設  ・ 総合案内センター、コンビニ入口  ・ 付近案内図 					

位 置	道の駅名称	施設概要	駐車台数	トイレ	備 考
R168 十津川村	十津川郷	・コンビニ(ヤマザキショップ) (生鮮：きのこ) ・そば処 ・足湯 ・毎日曜に朝市開催 ・屋台(煮コンニャク等)	25 台 ・大型 2 台 ・普通 23 台	16 器 (うち 1 器は多機能)	

・外観



・周辺案内図



・コンビニ入口



・足湯、屋台



位 置	道の駅名称	施設概要	駐車台数	トイレ	距 離
R168 五條市	吉野路大塔	・直売所(生鮮：きのこ) ・温泉, 天文台, プラネタリウム館, 本陣跡, 郷土館, 食事処, 土産物屋, バンガロー, ロッジ, ログキャビン 隣接	24 台	14 器 (うち 1 器は多機能)	

・外観



・駐車場(二輪車の利用が多い)



・隣接する天文台への入口



・隣接する食事処、土産物屋



位 置	道の駅名称	施設概要	駐車台数	トイレ	備 考
R169 北山村 (和歌山県)	おくとろ	- 観光案内所兼筏下り受付 - 温泉, レストラン, 売店, コンビニ (ヤマザキショップ), バンガロー, キャンプ場, ラフティング受付, ソフトクリーム屋が隣接	89 台 - 大型 7 台 - 普通 82 台	14 器 (うち 1 器は多機能)	下北山村から、約 18km 約 25 分

・案内所入口



・情報コーナー



・バンガロー



・コンビニ



・道の駅の対面にある「やまのやど」



・広域観光案内板



位 置	道の駅名称	施設概要	駐車台数	トイレ	備 考
R24 熊野市 (三重県)	熊野きのくに	- 直売所 (みかん, 木工品等) : 土日祝日のみ営業	20 台 - 大型 3 台 - 普通 17 台	8 器 (うち 1 器は多機能)	下北山村から、約 27km 約 34 分

・外観



・壁面にパンフレット配架



・道の駅の案内



・トイレ



位 置	道の駅名称	施設概要	駐車台数	トイレ	備 考
R311 熊野市 (三重県)	熊野・板屋 九郎兵衛の 里	・直売所 ・ラーメン店 ・熊野市役所紀和総合支社が隣接 ・熊野市紀和 B&G 海洋センター（総合体育施設（温水プール））が隣接	41 台 ・大型 3 台 ・普通 38 台 (EV 対応)	13 器	

・ 外観



・ 隣接する市役所



・ バス停



・ 隣接する総合体育施設



・ 障がい者用駐車場（屋根付き）



・ トイレ



位 置	道の駅名称	施設概要	駐車台数	トイレ	備 考
R42 熊野市 (三重県)	熊野・花の窟	・直売所 ・軽食コーナー（お綱茶屋） ・休憩所 ・資料コーナー ・営業時間：10～16 時 ・コンビニ（ファミマ）隣接 ・国史跡「花の窟」隣接	28 台 ・大型 3 台 ・普通 25 台 (EV 対応)	7 器	

・ 外観



・ テラスコーナー



・ 情報コーナー



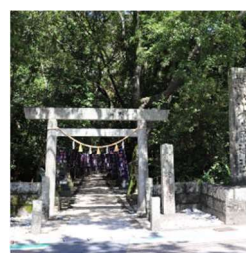
・ 周辺観光案内



・ EV 施設



・ 隣接する国史跡「花の窟」



位 置	道の駅名称	施設概要	駐車台数	トイレ	備 考
R42 御浜町 (三重県)	パーク七里 御浜	・直売所, レストラン ・ショッピングセンター(モールピネ)併設: 屋上ドッグラン, サイクルラック, スポーツジム, シャワー室(自転車、車中泊の人利用可) ・ホテル隣接	280 台 ・大型 14 台 ・普通 266 台 ・車椅子 2 台	7 器 (うち 1 器は多機能)	
・ 外観  ・ 屋上のサイクルラック、シャワー室  ・ 屋上のドッグラン  ・ スポーツジム  出典：道の駅パーク七里御浜 HP					

5.2. 参考となる道の駅の概要

温泉施設やキャンプ場の併設、アクセスが悪い山間地に立地するなどの類似点や、観光ゲートウェイや周遊観光促進、広域防災拠点としての工夫点がある事例を参考となる道の駅として、以下の9駅の整理を行いました。

表 参考となる道の駅の一覧

道の駅名称	位置	着目点	参考とする内容
こすげ	山梨県 小菅村	・人口が同規模 ・アクセスが悪い山間地に立地	交通不便地に誘客する工夫
スプリングひよし	京都府 日吉町	・ダム湖に隣接 ・アクティビティ施設が充実 ・キャンプ場を併設	滞在型の道の駅の工夫
よしおか温泉	群馬県 吉岡町	・住民、観光客の両方が利用する温泉施設、スポーツ施設がある	交流人口を増やす工夫
針・テラス	奈良県 奈良市	・奈良県へのゲートウェイに位置する	観光ゲートウェイとしての工夫
宇陀路大宇陀	奈良県 宇陀市	・まちの観光拠点	周遊観光を促進する工夫
クロスウェイなかまち (R6. 11. 30 開駅)	奈良県 奈良市	・道路利用者や観光客、住民の避難場所	広域防災拠点としての工夫
てしお	北海道 天塩町	・特産品（ラーメン、チーズ等）の自動販売機導入 ・防災道の駅	町内特産物の24時間物販の工夫
パレットピアおおの	岐阜県 大野町	・新鮮な野菜や特産品を自動販売機で販売 ・防災道の駅	町内農産物の24時間販売の工夫
おが	秋田県 男鹿市	・地元食材を使った冷凍食品の自動販売機の設置	地元食材を使った軽食の24時間販売の工夫

■道の駅こすげ

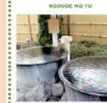
- ・東京から2時間で多摩源流の自然が満喫できることをPR



遊

自然の中で思いっきり遊ぼう！
大自然を生かしたアクティビティを楽しむ！
ここにしかない自然と出会う・体験する

多摩源流温泉小菅の湯



小菅の湯は高アルカリ性温泉で「美人の湯」とも呼ばれています。露天風呂など、自然の恵みを生かした温泉施設が充実しています。

フォレストアドベンチャーこすげ



自然の樹木や地形を生かしたコースを、安全設備を備え、体験型アクティビティとして展開しています。

道の駅こすげ



石炭のあるレストランでは村の歴史を伝えるお食事、物産館で地産の特産品販売、ふもろ・ふるさと館では歴史や自然の魅力を伝えています。

小菅フィッシングビレッジ



村には二つの管理釣り場があり、初心者からエキスパートまで幅広く楽しむことができます。渓流でも釣りが楽しめます。

泊

小菅村ならではの宿に泊まろう！
お好みの滞在プランに合わせた宿泊施設をお選びください！

キャンプ場



バンガロー、アットサイトなどがあり、大人数での宿泊も可能。自然の中でキャンプを楽しむことができます。

民宿・旅館



小菅村の旬の食材を楽しむことができます。お風呂の備え付けられた宿泊施設、お食事のサービスも充実しています。

古民家ホテル



村に点在した古民家を改装したホテル。村の歴史や文化を伝えるお食事、お風呂の備え付けられた宿泊施設、お食事のサービスも充実しています。

タニニハウス



タニニハウスとは「小さな家」という意味。11の宿舎、一棟建てのタニニハウス、タニニハウスで過ごす楽しみがあります。

■道の駅スプリングひよし

- ・スポーツレジャー部門で日本一の道の駅で、ゆっくり滞在できる複合施設であることをPR

京都丹波高原国定公園に位置し、日吉ダム直下という好ロケーションと共に、温泉総選挙2019、2020において二年連続してスポーツレジャー部門で日本一に輝いた道の駅。天然天然温泉をはじめ、日吉ダムカレーが名物のレストラン、野菜の直売所などゆっくりと滞在いただける複合施設。BBQガーデンやキャンプ場などのアウトドアも充実！彩花菜園は、地元の農家から届く採れたての新鮮野菜や、おいしい加工品、お弁当等が揃う直売所です。特産品里の市は、丹波黒豆・丹波栗・壬生菜等、京都丹波の恵みと大切な方へのお土産はこちらでお買い求めいただけます。レストラン桂川は、京都丹波の素材と旬が味わえる和食レストラン。ダムカレーの他、黒豆豆乳ラーメン等人気メニューが揃います。美山ソフトやオリジナルソフトクリーム「ソフト」「温玉ソフト」など、スイーツも充実しております。

道の駅「スプリングスひよし」



- ATM
- ベビーベッド
- レストラン
- 観光・販売
- 温泉施設
- キャンプ場
- 公園
- 宿泊
- 乗換案内
- EV充電スタンド
- EV充電設備
- 無線LAN
- シャワー
- 観光案内
- 乗降便トイレ
- ショップ
- 体験施設

■道の駅よしおか温泉

- ・滞在型の複合施設であることや立寄りを促す施設のPR

道の駅よしおか温泉は、お食事でもできる温泉施設リポートピア古岡、ゴルフを中心にスポーツが楽しめる緑地運動公園、特産品が購入できる物産館かざぐるまから成る滞在型の複合施設です。

敷地内には無料の「足湯コーナー」があり、ドライブやサイクリングの途中で一休みすることも可能です。

- ・ネットで予約や支払可能な、無人管理の車中泊用スペースをPR

RVパークsmart 道の駅よしおか温泉

2022年7月1日オープン



インターネットで利用予約から利用料金の支払いまでを行い、予約完了時に発行されたバーコードでチェックインができる無人管理の車中泊用スペースです。RVパークには給電設備がついており、エンジンを切っても車内の電化製品が利用できるため、快適に過ごすことができます。利用方法等の詳細は、RVパークsmart公式サイトからご確認ください。

<利用可能時間> AM11:00～翌AM09:00まで
<車室数> 2車室

よしおか温泉MAP

あしたやりたい！
古岡町緑地運動公園
詳細ページへGO

もっと楽しい！
物産館かざぐるま
詳細ページへGO

もっとワクワク！
リポートピア古岡
詳細ページへGO

緑地運動公園クラブハウス

クラブハウス

EVスタンド

RVパーク

道の駅本内所

足湯

船場まんじゅう店

インターネットで利用予約から利用料金の支払いまでを行い、予約完了時に発行されたバーコードでチェックインができる無人管理の車中泊用スペースです。RVパークには給電設備がついており、エンジンを切っても車内の電化製品が利用できるため、快適に過ごすことができます。利用方法等の詳細は、RVパークsmart公式サイトからご確認ください。

<利用可能時間> AM11:00～翌AM09:00まで
<車室数> 2車室

よしおか温泉のことなら案内所におまかせ！
<営業時間> 8:30～17:00

2か所に設置された足湯はレジャーや運動による足筋の疲れを癒やすに最適！お湯の温度はいつでも30℃前後に保たれています。

甘き湯で癒やされたい！おいしい田舎まんじゅうです。地元の名産が自慢の湯もあついで、ひとつと

■道の駅針テラス

- ・針テラスを広域観光情報拠点（ゲートウェイ）として、宇陀エリアの5つの道の駅を結んだ観光周遊ルートをPR



■道の駅宇陀路大宇陀

- ・市内の四季の見所や道の駅を起終点とした観光モデルコースをPR（リピータを増やす工夫）



■道の駅クロスウェイなかまち

- ・県内初の防災道の駅で、災害時に支援活動可能な広い駐車場や救援物資の備蓄倉庫を設置
- ・令和6年11月30日に開駅

○主な機能

・地域振興機能

- 周辺地域の農産物等を取り扱う直売所、レストランやカフェの設置

・公共交通の結節点機能

- 空港バスや路線バスなどのバスターミナルの設置

・地域観光のゲートウェイ機能

- 周辺の観光周遊の向上や、周辺の歴史や文化の情報発信

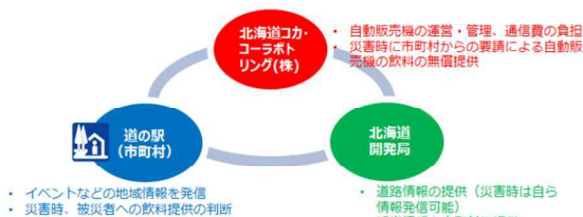
・防災機能

- 耐震化や無停電化された施設、災害時に支援活動が可能な約1万㎡の駐車場、救援物資の備蓄倉庫の設置



■道の駅てしお

- ・30種類以上の特産品（ラーメン、チーズ等）を販売するため、2台の自販機を導入。
- ・営業時間外にも商品を売ることができるので、フードロス削減や他店との差別化がメリット。
- ・天塩町、北海道開発局留萌開発建設部、北海道コカ・コーラボトリング（株）の3者協定による電光掲示板付き自動販売機を活用した情報の提供「おしらせ道ねっと」を運用。
- ・防災道の駅として認定。



① 情報提供サービス

○ 情報がメッセージボードに表示される
（時計⇒各自入力⇒自治ニュース⇒時計の順）
○ 各自入力のメッセージは、観光情報や道路情報、災害情報等

▼メッセージボードでの情報発信イメージ

○ 月○日 (○) 午前○時『●●●●●まっつり』

国道●号 (○) 土砂崩落発生 通行止め 迂回必要

② 災害対応サービス

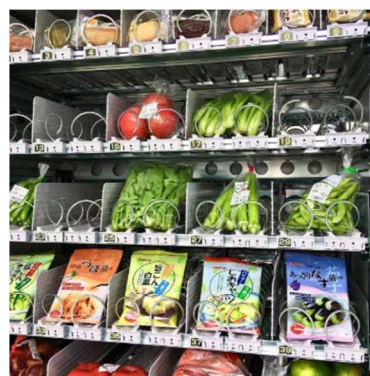
○ 非常時に市町村の判断で自動販売機内の在庫商品を無償提供

◀ 飲料水の無償提供設備

※ 参考 開発計画課 HP <https://www.hkd.mhl.go.jp/hy/ki/kakaku/ud/re/0000000002.htm>

■道の駅パレットピアおおの

- ・コロナ禍の状況や、地域内循環型の経済活動が重視されつつある中で、新しい生活様式を踏まえて町内農産物の販売促進を図るため、自動販売機による販売を開始。
- ・非接触で24時間いつでも購入できることにより、道の駅の営業時間外に訪れた利用者也新鮮な野菜や特産品など購入できる。
- ・防災道の駅として認定。



出典：大野町 HP

■道の駅おが

- ・男鹿の食材を使った調理済みの冷凍食品の自動販売機を設置。
- ・休憩コーナーに設置し、24時間いつでも購入できる。専用電子レンジを使って、その場で食べることもできる。



- ◆ 鯛めしと鯛の甘酢あんかけ弁当 (970円)
- ◆ 魚介のパスタ (1,080円)
- ◆ 男鹿産タラのフィッシュカレー (970円)
- ◆ 魚介のトマト煮込み (1,080円)
- ◆ 男鹿しよつる焼きそば (750円)
- ◆ ナッポコセ 牛もつとタコとエビのピリ辛鍋 (1,080円)
- ◆ 男鹿のタラとタコのアヒージョ (1,080円)
- ◆ あきたこまち玄米雑味燗焼きそば (860円)

出典：地域情報サイト「あきたノート」

6. ニーズ調査

6.1. 来訪者アンケート調査

来訪者アンケートは、奈良女子大において8月の夏休み中に観光アンケートを実施しており、その内容を活用することとします。調査概要を以下に示します。

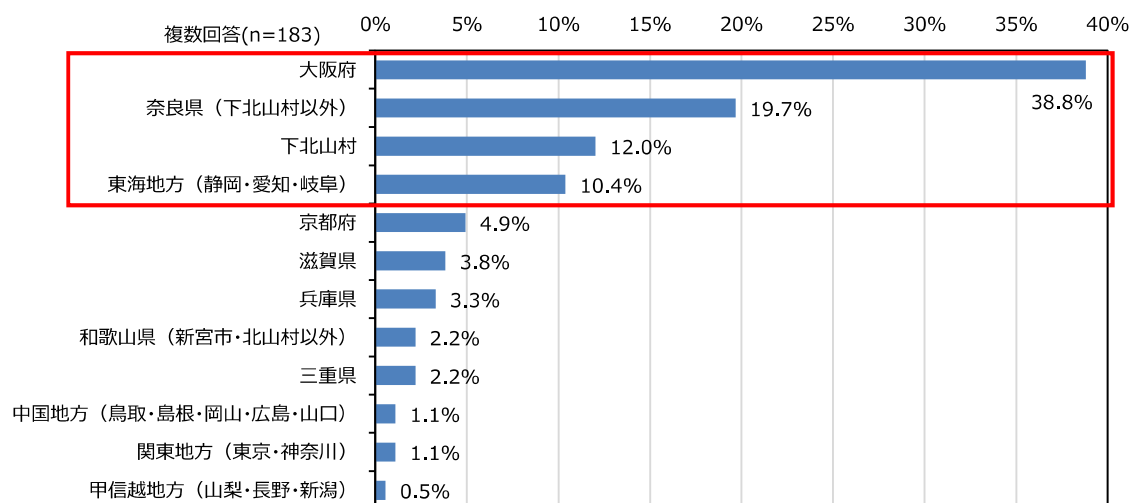
表 調査概要

調査対象	下北山スポーツ公園への来訪者
調査期間	令和6年8月
調査方法	来訪者へのアンケート案内を行い、Web 回答
回収結果	回収：184 通

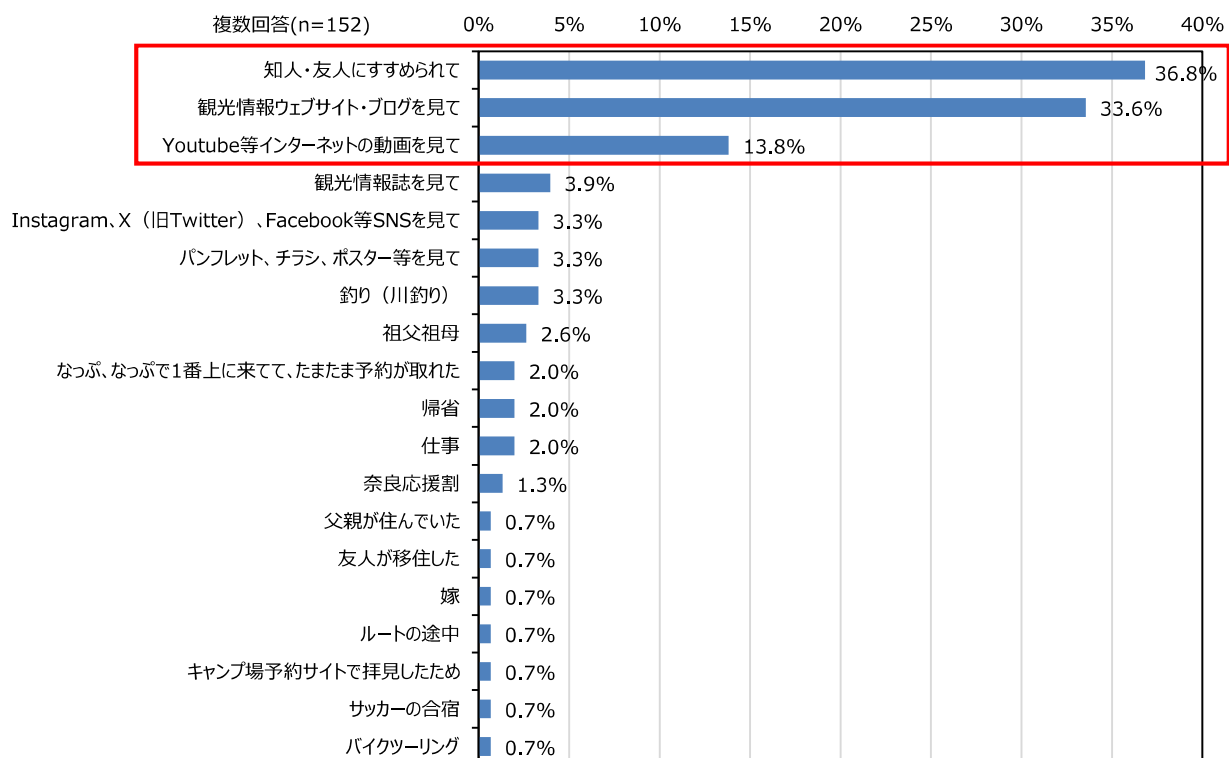
6.1.1. 調査結果概要

- **訪問者の居住地**は、大阪4割、奈良2割。東海地方1割の順が多い。
- **訪問のきっかけ**は、「WEB、動画を見て」（47%）、「知人・友人からの口コミ」（37%）の順が多い。
- **同行人数**は、「2～4人」（60%）が最も多く、1人も16%存在する。
- **滞在期間**は、1泊2日～2泊3日が8割、日帰りは1割程度。
- **訪問回数**は、2回以上のリピーターが過半数以上。
- **訪問の目的**は、「キャンプ」と「温泉」がほとんどを占める。
- **満足度**は、「かなりの湯（温泉）」（58%）、「キャンプ」（56%）が特に高く、交通アクセス以外は全体的に満足度が高い。
- **次回の観光希望**は、「観光スポットに行きたい」、「レジャー・アクティビティ・スポーツを楽しみたい」、「自然で癒されたい」の順が多い。
- **地域の観光に足りないもの**は、「便利な交通」が一番多いが、「買い物できる場所や飲食店が足りていない」、「閉店時間が早い」などの意見もある。
- **道の駅に追加してほしい施設（機能）**は、「飲食店・カフェ」（71%）、「特産品販売コーナー」（55%）、「屋内休憩コーナー」（40%）、「観光・道路情報コーナー」（26%）、「車中泊できる駐車場」（26%）、「コインランドリー」（19%）などがあつた。

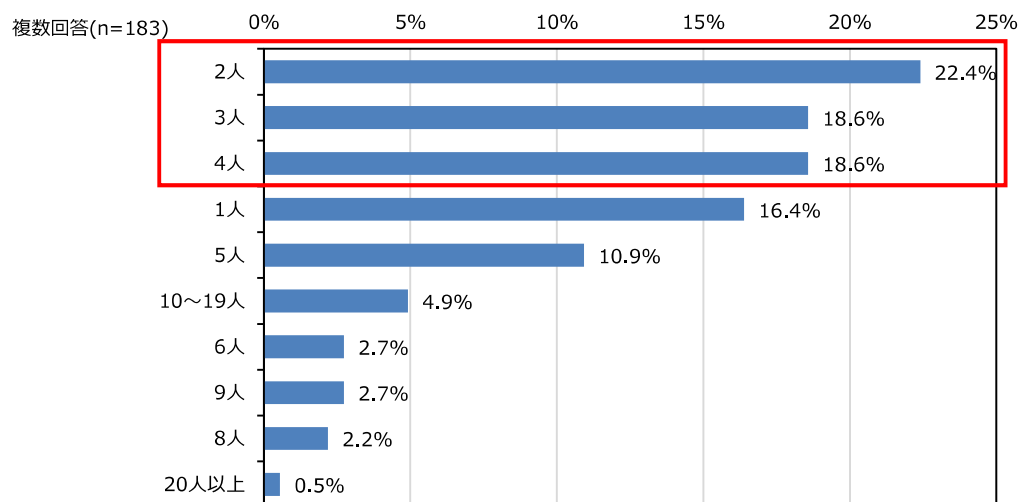
(1) 居住地



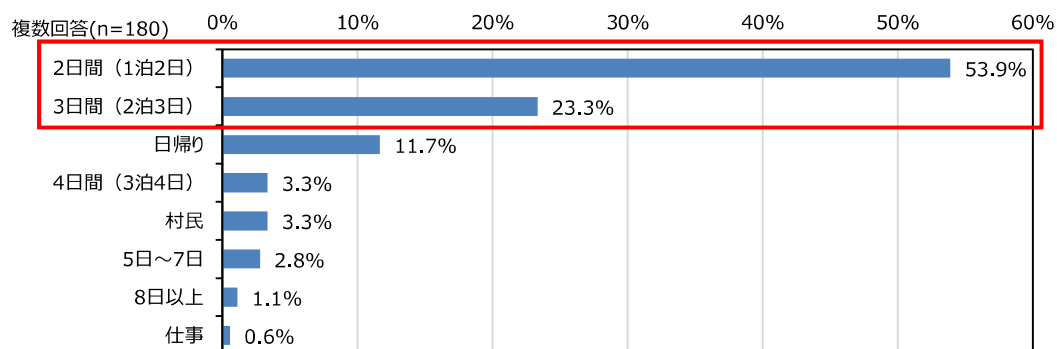
(2) 訪問のきっかけ



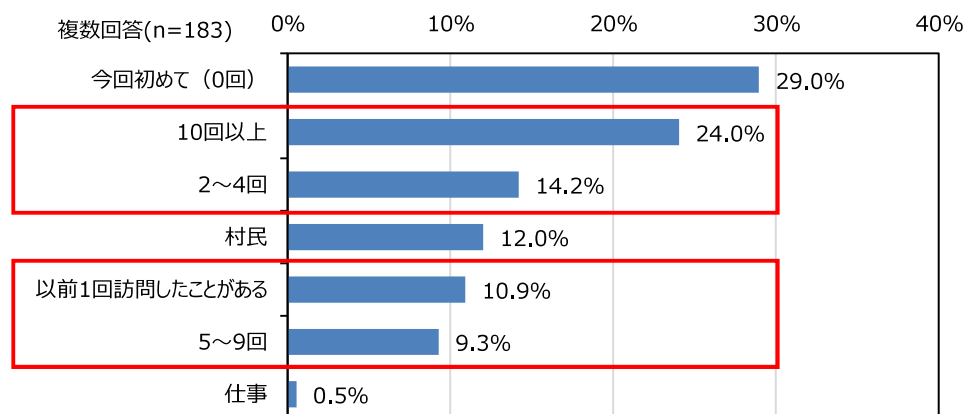
(3) 同行人数



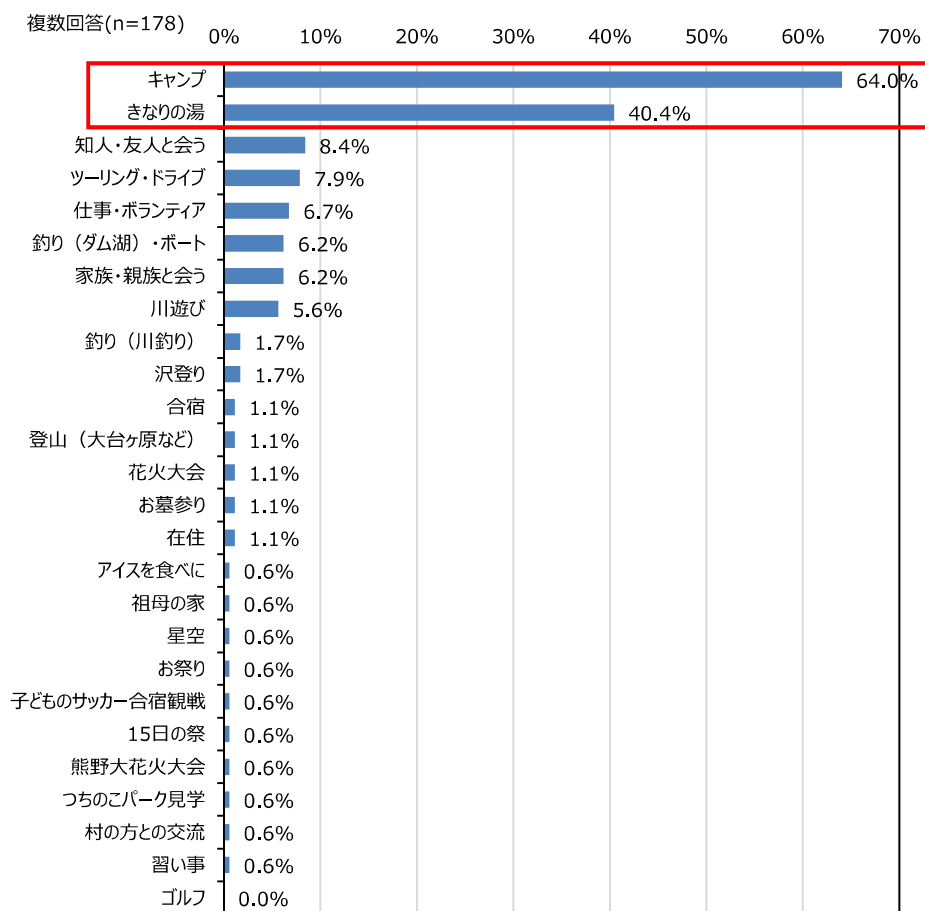
(4) 滞在期間



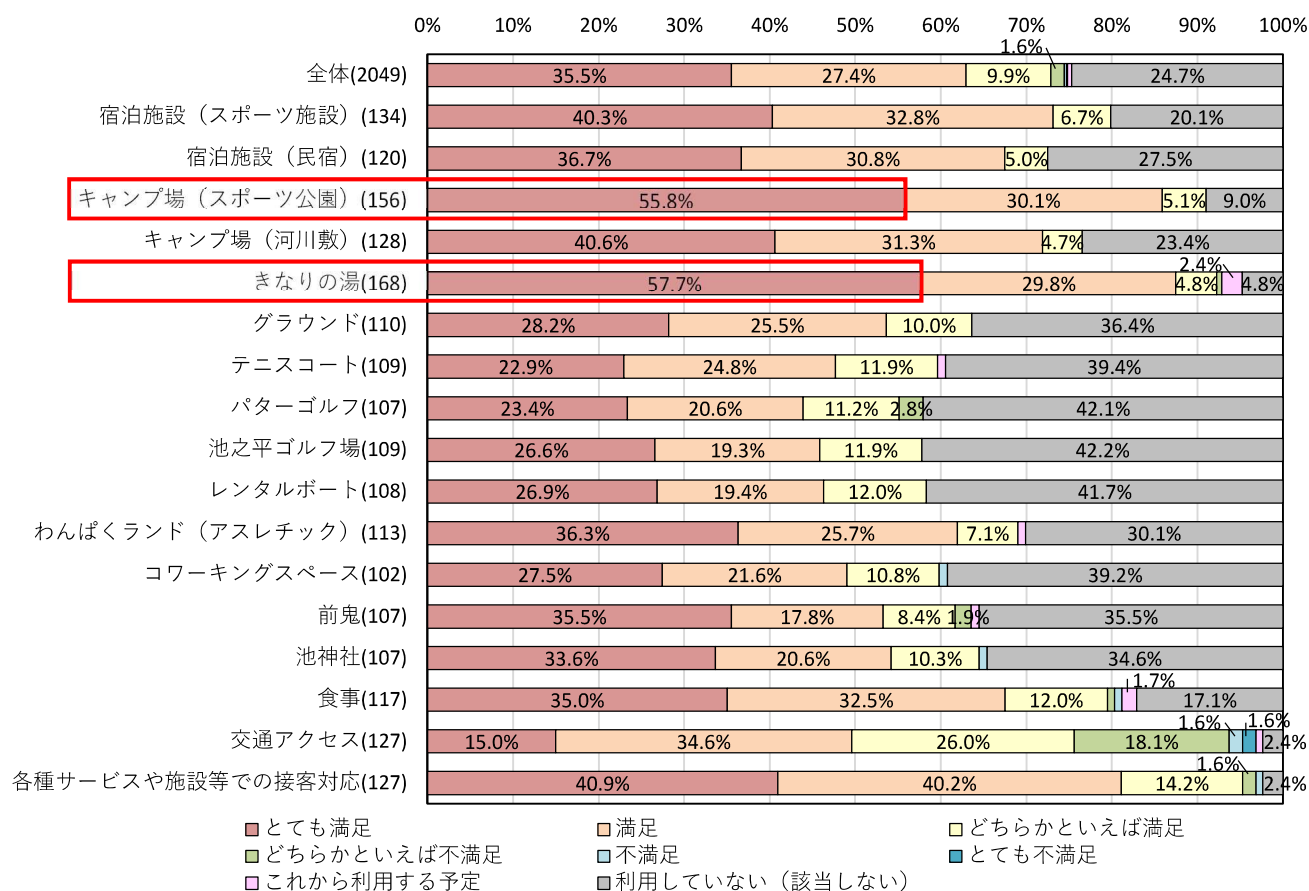
(5) 訪問回数



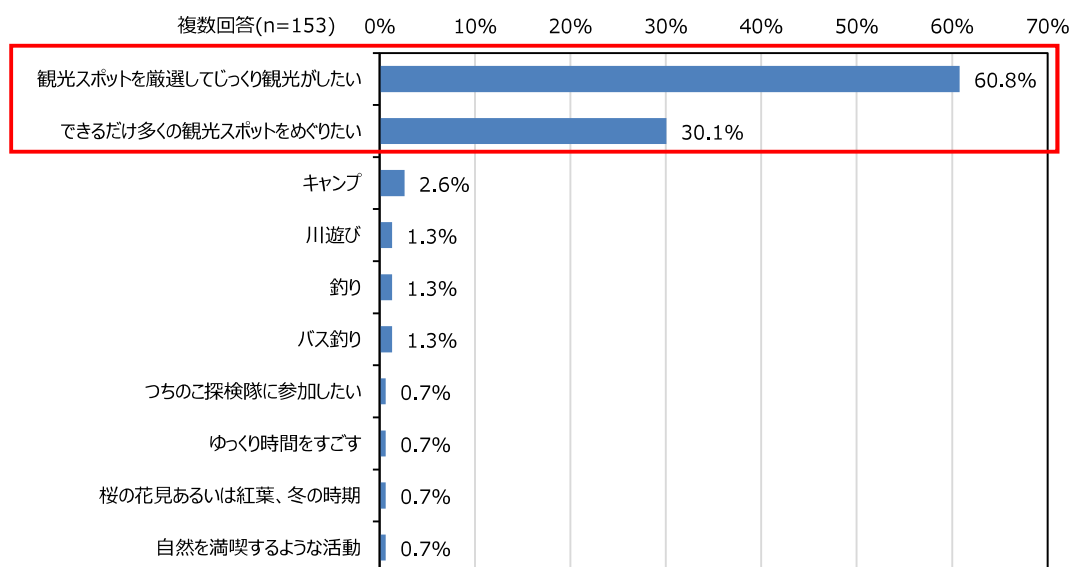
(6) 来訪の主な目的（利用施設）



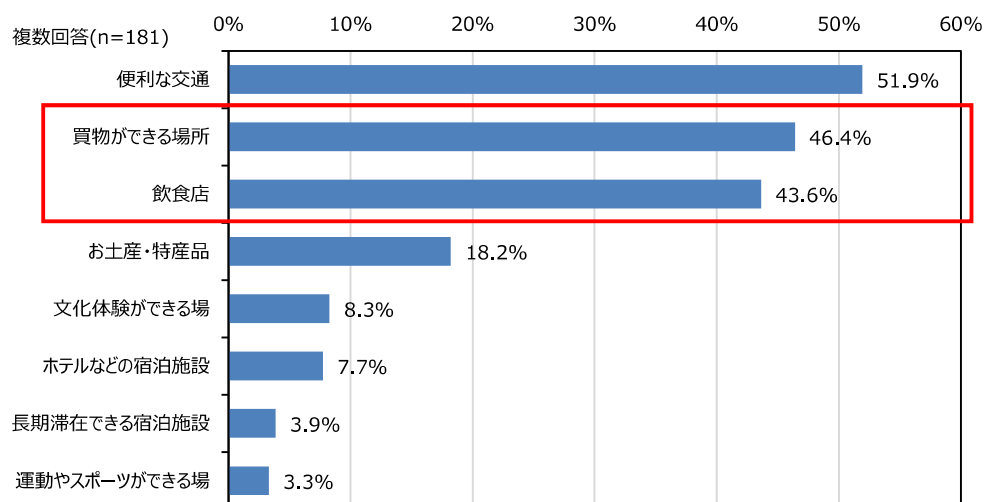
(7) 施設や観光スポットの満足度



(8) 次回の希望観光



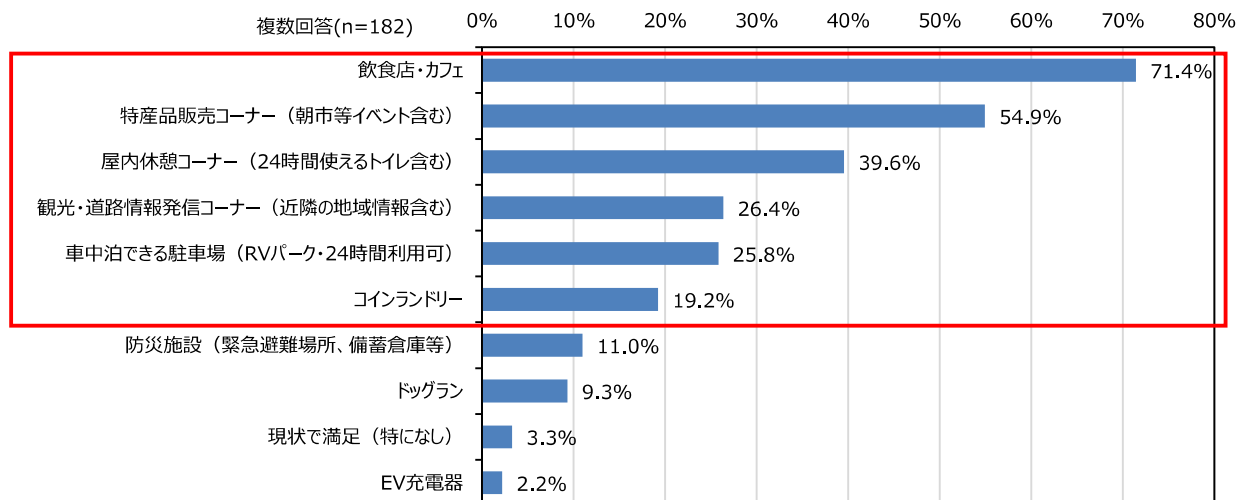
(9) 地域の観光に足りないもの



(その他)

- ・キャンプ場の売店は午後5時に閉店するため、軽食が買える自販機があればより便利
- ・食べ物のお土産や地元食材が買える場所があるとよい 等

(10) 道の駅に追加してほしい施設



6.2. 住民アンケート調査

住民アンケート調査は、今後、下北山スポーツ公園を道の駅として整備することを検討するにあたり、住民の方の利用実態及びニーズの把握を目的に実施しました。

調査概要を以下に示します。

表 調査概要

調査対象	下北山村住民
調査期間	令和6年11月1日～11月14日
調査方法	区長を通じて全世帯配布、回収ボックスでの回答又はweb回答
配布数	530世帯（801人）
有効回収数	176票（回収率33.2%）：回収ボックス107票、web69票
有効回答者数	230人
調査項目	・属性（年齢、性別、居住地区） ・スポーツ公園を利用する目的とその頻度 ・スポーツ公園を利用する際の同伴者 ・スポーツ公園を利用する際の主な同伴者の人数 ・スポーツ公園に追加してほしい施設（機能）について ・「道の駅」整備による効果について ・「道の駅」でやってみたいことについて ・自由意見

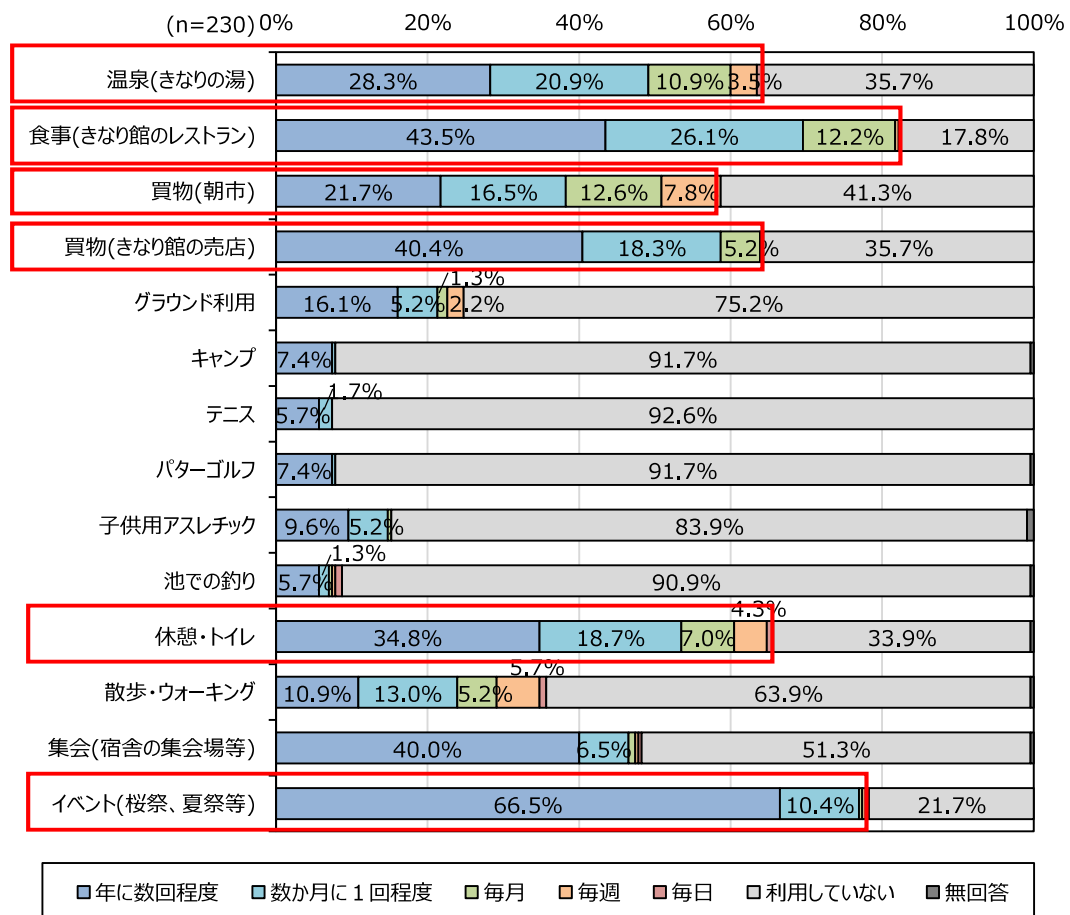
6.2.1. 調査結果概要

- **スポーツ公園を利用する目的**は、「食事（きなり館のレストラン）」が8割強と最も多く、次いで「イベント（桜祭・夏祭等）」が約8割、続いて「休憩・トイレ」が約7割、「温泉」と「買物（きなり館の売店）」が約6割の順でした。
- **近隣の施設と比べて『魅力的』と感じている**のは、「池原ダム（公園からの眺望）」と「イベント（桜祭・夏祭等）」が約5割と最も多く、次いで「温泉（きなりの湯）」が約4割の順でした。逆に『魅力的でない』と感じているのは、「売店（きなり館）」が約2割で多い状況でした。
- **追加してほしい施設（機能）**は、「飲食ができる場所」が約6割と最も多く、次いで「特産品販売コーナー」が4割強、「観光・道路情報発信コーナー」と「コインランドリー」が約4割でした。
- **道の駅整備により期待される効果**は、「過ごす場所や買い物をする場所が増える」が約8割で最も多く、次いで「来訪者が増える」が約7割、「新たな働く場や機会が増える」が約6割でした。
- **道の駅でやってみたいこと**は、「イベント運営等」（春夏以外のお祭り、音楽イベント、フリーマーケット等）と「飲食施設」（キッチンカー、軽食等）、「観光案内ガイド」、「教室やワークショップ」などがありました。

a) スポーツ公園を利用する目的とその頻度について

- ・スポーツ公園を利用する目的は、「食事」が82.2%と最も多く、次いで「イベント」が78.3%、「休憩・トイレ」が65.7%、「温泉」と「買物(きなり館の売店)」が同一で64.3%、「買物(朝市)」が58.7%であった。
- ・利用する頻度で多かったのは「買物(朝市)」が20.4%、次いで「温泉」が15.2%、「食事」が12.6%、「休憩・トイレ」が12.2%、「散歩・ウォーキング」が11.7%であった。
- ・利用していない施設としては、「テニス」、「キャンプ」、「パターゴルフ」、「池での釣り」が約9割、「子供用アスレチック」は約8割、「グラウンド利用」が約7割、「散歩・ウォーキング」が約6割であった。

『利用する頻度が多い』…「毎月」+「毎週」+「毎日」

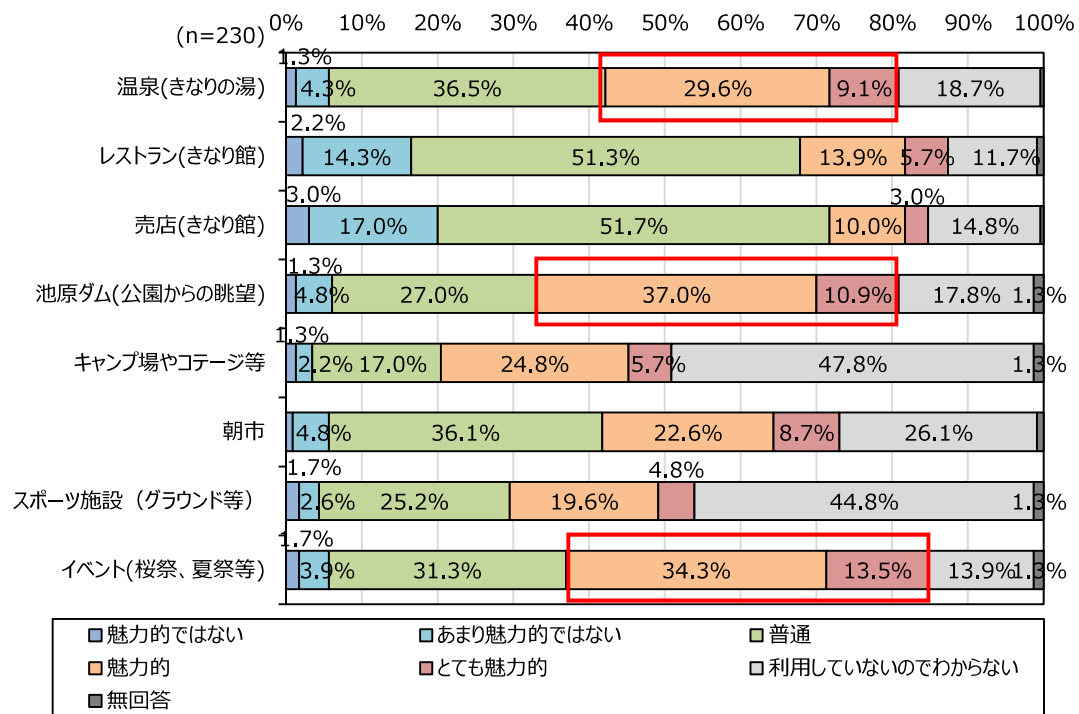


b) 近隣の施設と比べて、スポーツ公園の魅力に思う度合いについて

- ・近隣の施設と比べて『魅力的』と思うのは、「池原ダム(公園からの眺望)」、「イベント(桜祭、夏祭等)」が同一で47.8%と最も多く、次いで「温泉(きなりの湯)」が38.7%の順であった。
- ・『魅力的ではない』と思うものは、「売店(きなり館)」20.0%と最も多かった。

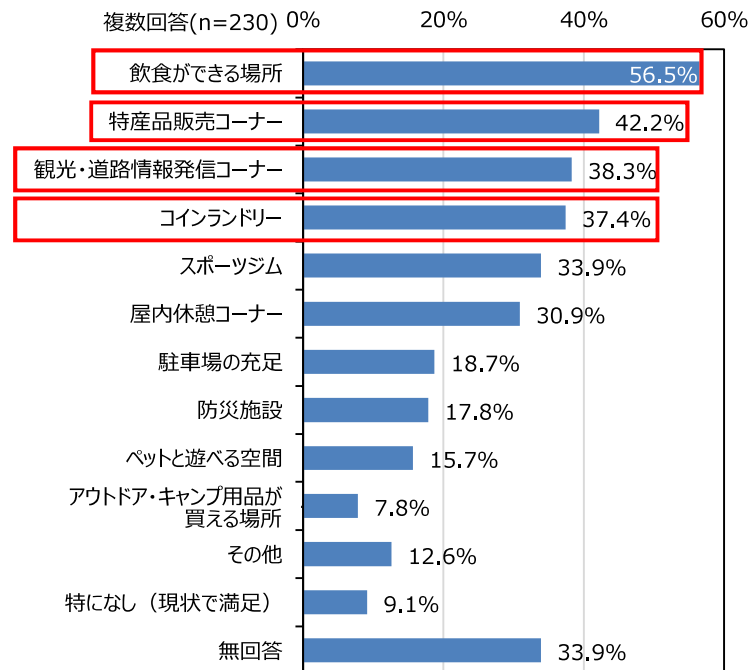
『魅力的』…「魅力的」+「とても魅力的」

『魅力的ではない』…「魅力的ではない」+「あまり魅力的ではない」



c) スポーツ公園に追加してほしい施設（機能）について

- ・スポーツ公園に追加してほしい施設（機能）は、「飲食ができる場所」が 56.5%と最も高く、次いで、「特産品販売コーナー」が 42.2%、「観光・道路情報発信コーナー」が 38.3%、コインランドリーが 37.4%の順であった。

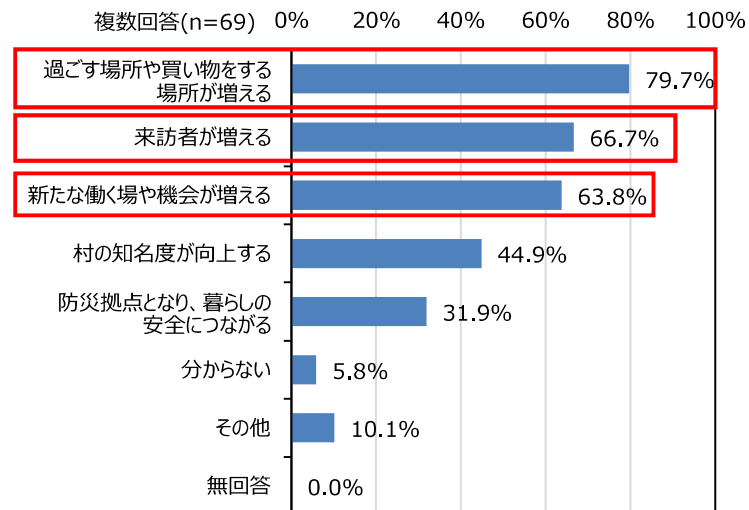


（その他）

- ・食料品や日用品の販売店（24 時間コンビニ、ミニスーパー等）
- ・スポーツ施設や遊び場（温水プール、スポーツジム、村の子どもの遊び場等）

d) 「道の駅」整備による効果について

- ・道の駅整備により期待される効果として、「過ごす場所や買い物をする場所が増える」が79.7%と最も多く、次いで「来訪者が増える」が66.7%、「新たな働く場や機会が増える」が63.8%の順であった。



e) 「道の駅」でやってみたいことについて

- ・イベント運営や物販（春夏以外のお祭り、音楽ライブ、フリーマーケット等）
- ・飲食施設（キッチンカー、軽食等）
- ・観光案内ガイド
- ・教室やワークショップ 等

7. 施設の計画

7.1. 既存施設の概要

スポーツ公園では、宿泊施設、温泉施設、スポーツ施設・遊び場、休憩施設（駐車場・トイレ）が既に整備されています。

周辺の道の駅と比較すると、施設面積が広く、様々な年齢（子ども～お年寄り）や利用者（観光客、住民）が楽しめる施設が集積しています。

また来訪者が利用する民間施設として、近接してコンビニ（ヤマザキショップ：カーブの店）とカフェ（釣具・コテージ併設：アングラーズベース）があり、村内には民宿が点在しています。



■ スポーツ公園内既存施設

公園入口の案内サインと旧 JA ショップ



入口の駐車場



■ スポーツ公園内既存施設

公衆トイレ



公衆トイレ（改修予定）



朝市広場



ふるさと文化伝習館



ロジックすの木、宿舎やすらぎ（宿泊施設）



宿泊施設の総合案内（パンフ配架、喫茶等）



きなり館



きなり館のレストラン、交流室（休憩室）



■ スポーツ公園内既存施設

きなり館の売店



きなりの湯（きなり館の温泉）



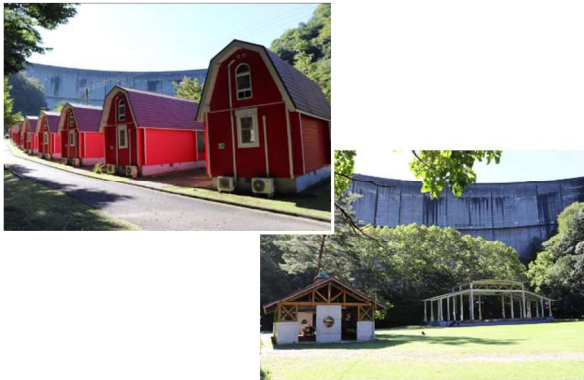
キャンプ場受付施設



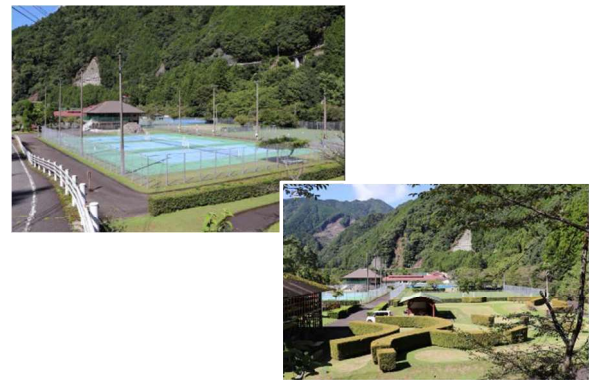
キャンプ場受付施設の売店（貸自転車受付）



池原ダムと野外ステージ、オートロッジ



テニスコート、わんぱくランド



■ 近隣の民間施設

ヤマザキショップ（カーブの店）
【民間コンビニ（7～20時）・2階民宿】



アングラーズベース【民間カフェ・ロッジ】



7.2. 現況施設の機能の整理

下北山スポーツ公園の既存施設を道の駅の基本3機能にあてはめて整理をしました。

休憩機能については、駐車場は197台、トイレは81器と容量は十分ですが、24時間利用できる施設やバリアフリーに関わる内容は不十分な状況です。



機能分類	施設分類	施設の内容や容量	計
休憩機能	駐車場① 池の前	駐車台数：42台	駐車台数 197台 大型：4台 普通：193台 ※全て24時間 利用可能
	駐車場② 商工会横	駐車台数：約25台	
	駐車場③ 合宿棟前	駐車台数：普通車37台	
	駐車場④ きなり館前	駐車台数：普通車67台、 大型4台	
	駐車場⑤ キャンプ場管理棟前	駐車台数：普通車22台	
	トイレ(1) 朝市広場横	男：大1、小4 / 女：5 多機能：1	トイレ数 81器 うち多機能4器 ※61/81器は24時間利用可 能 (うち多機能は全て24時 間利用可能)
	トイレ(2) 商工会横	男：大2、小3 / 女：2	
	トイレ(3) テニスコートセンターハウス	男：大1、小2 / 女：2	
	トイレ(4) ふるさと文化伝習館	男：大1、小3 / 女：3	
	トイレ(5) キャンプ場管理棟	男：大1、小1 / 女：1 多機能：1	
	トイレ(6) キャンプ場管理等横	男：大1、小3 / 女：4	
	トイレ(7) キャンプ場ダム堰堤下	男：大2、小3 / 女：3	
	トイレ(8) キャンプ場ACサイト	男：大2、小3 / 女：3 多機能：1	
	トイレ(9) 合宿棟	男：大2、小3 / 女：2	
	トイレ(10) きなり館	男：大1、小2 / 女：5 多機能：1	
	トイレ(11) 旧JAショップ	男：大1、小2 / 女：2	
	子育て支援施設	授乳室1 おむつ交換台1(朝市横トイレ)	※おむつ交換台は24時間 利用可能
情報発信 機能	宿泊施設、温泉施設、 キャンプ場受付等	観光パンフレット等配架	
地域連携 機能	温泉施設、レストラン、 売店、杉岡華邨記念館	温泉、飲食、売店	
	キャンプ場、ロッジ、 コテージ、野外ステージ	宿泊、イベント会場	
広域防災 拠点機能	通信設備	通信環境(電話)あり 公衆電話1	※公衆電話は24時間利用 可能

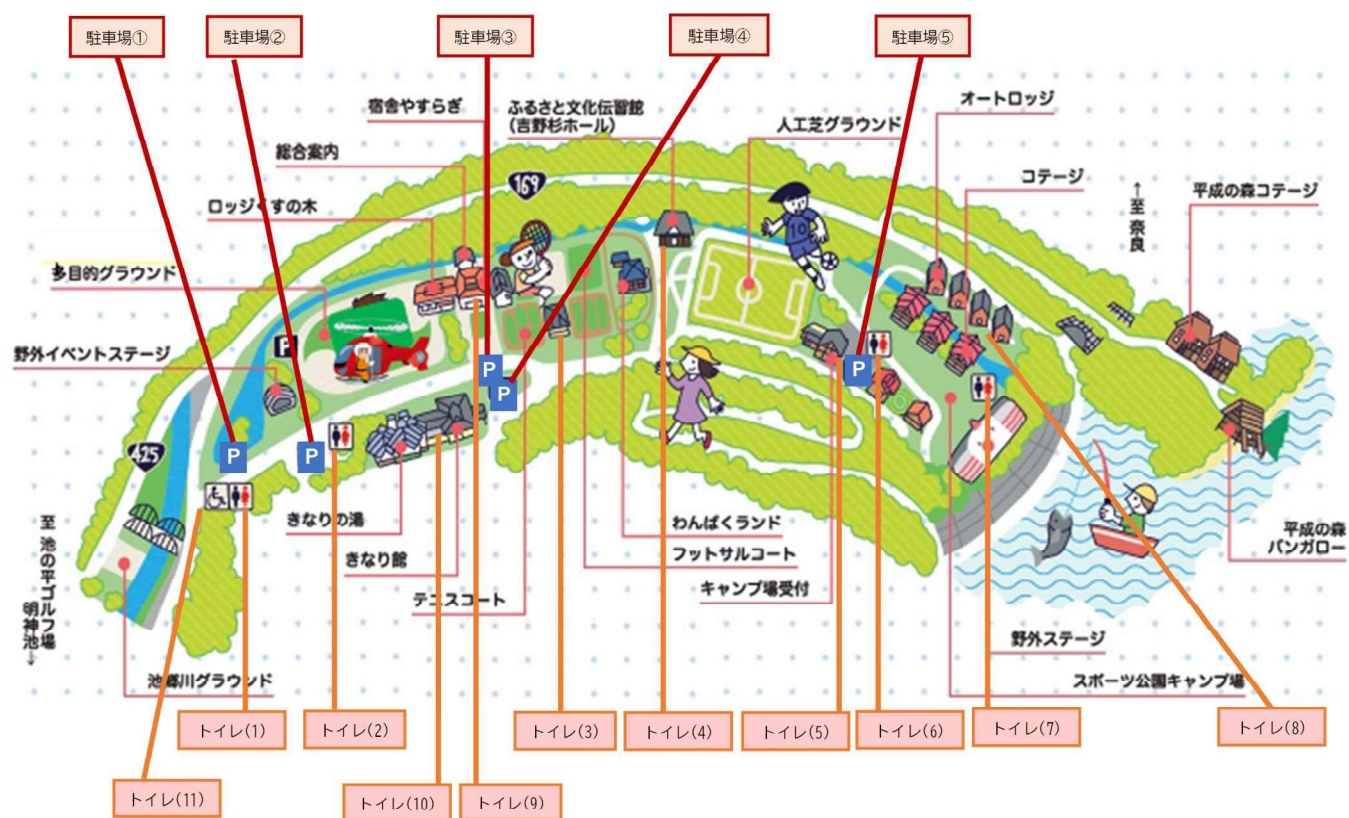


図 駐車場とトイレの位置

8. 道の駅整備コンセプト（案）

8.1. 基本的な考え方

前章までに整理した現況から、下北山スポーツ公園の現状と課題、その対応方針をとりまとめて、導入が想定される機能について整理を行いました。目指す方向性を踏まえると、道の駅の基本3機能（休憩、情報発信、地域連携）と防災機能（広域防災拠点）の他、交流・誘客機能（誘客、アクティビティ、滞在）や利便性機能（サービス向上）が必要と考えられます。

道の駅整備の与条件		目指す方向性	道の駅整備における留意点	道の駅に必要な機能
スポーツ公園の現況	公園施設	■ キャンプ、フィッシング、スポーツ合宿等が盛んであり、強みを活かす工夫	施設の収益性の確保	交流・誘客機能 ・ 誘客機能 ・ アクティビティ機能 ・ 滞在機能
	イベント			
	近隣施設			
村の概況	人口	■ 近接する民間競合店への配慮や、近隣施設など多様な主体との連携	村内の関連施設全体の連携	
	道路環境			
	防災			
	産業			
その他、留意点	その他	■ 交流人口の増加 ■ トンネル開通後は、交通利便性の向上 ■ 広域的な防災拠点としての役割 ■ 第6次産業への取り組みの強化 ■ 観光情報、道路情報の発信 ■ 分かりやすい道路案内が必要	安心・安全な地域防災拠点	防災機能 ・ 広域防災拠点機能
	総合計画の目標			
	観光アンケート			
	住民アンケート			
周辺の道の駅の特徴	参考となる道の駅事例	【村の施策との整合】 ■ 来訪・滞在促進策の工夫 ■ 地域の魅力発信の工夫 ■ 防災に関わる安心感への配慮 【観光客ニーズへの対応】 ■ キャンプ目的のファミリー層が多く、キャンプに必要なものが買える場所が不足している ■ 全体的に満足度は高く、情報源はリピーターによる口コミ、インターネットによるものが多く、WEB情報の充実が有効 ■ 長期滞在のなかでの広域周遊促進の工夫 【住民ニーズへの対応】 ■ 温泉利用が多く、きなり館の魅力向上や村の魅力の情報発信が必要 ■ 飲食や買物ができる場所、情報発信コーナー、コインランドリーなどのニーズが多い ■ 過ごす場所や買い物場所が増えることや、イベントなどへの運営・参加などへ期待感が高い 【周辺の道の駅との連携】 ■ 近隣市町村の道の駅同士の周遊性強化 【独自の魅力付加】 ■ 情報提供機能の強化 ■ 既存施設の更なる活用工夫 ■ 独自の魅力付加による他店との差別化	紀伊半島南部の情報拠点	
周辺の道の駅の特徴	参考となる道の駅事例		村の将来の発展(まちづくり)に寄与	道の駅の基本3機能 ・ 休憩機能 ・ 情報発信機能 ・ 地域連携機能
周辺の道の駅の特徴	参考となる道の駅事例		村内の産業振興への寄与	
周辺の道の駅の特徴	参考となる道の駅事例		紀伊半島南部の周遊促進	
周辺の道の駅の特徴	参考となる道の駅事例		ニーズに対応したサービス向上	利便性機能 ・ サービス向上機能
周辺の道の駅の特徴	参考となる道の駅事例		観光目的地となる魅力の強化	
周辺の道の駅の特徴	参考となる道の駅事例		地域住民と観光客の交流促進	

8.2. 道の駅に必要な機能

(1) 道の駅の基本 3 機能に関する整理

道の駅の基本 3 機能のうち、地域連携機能にあたる観光レクリエーション施設は既存施設内や近隣にすでに存在しますが、休憩機能および情報発信機能は、既存機能の改修や新たな施設の導入が必要です。

表 道の駅の基本 3 機能

要素	具体的なハード・ソフト施設例
休憩機能	24 時間利用可能な駐車場、トイレ、 授乳室（子育て支援施設）、ベンチ
情報発信機能	近隣市町村の情報も含めた道路・地域情報コーナー、 観光案内所、Wi-fi 環境、道路案内・道の駅施設案内
地域連携機能	地元特産品販売所（朝市）、レストラン、カフェ

黒字：既存の内容 青字：既存の改修 赤字：新たな導入

(2) 防災機能に関する整理

防災機能のうち、ヘリポート、給水施設は既存施設内に存在しますが、給水施設は改修が必要となります。また、防災倉庫や非常用発電機、通信設備、防災トイレは新たな施設の導入が必要です。

表 防災機能

要素	具体的なハード・ソフト施設例
広域防災拠点機能	ヘリポート、給水施設、防災倉庫、 非常用発電機、通信設備、防災トイレ

黒字：既存の内容 青字：既存の改修 赤字：新たな導入

防災機能のみに特化した施設や設備として整備が行われてしまうと、いざという時にうまく活用されないリスクが生じ運営の負担になる可能性も考えられることから、効率的な防災機能向上の考え方として、道の駅におけるフェーズフリーという概念で整備される防災道の駅もあります。それは、災害用設備を平時でも活用できるように整備する考え方で

▲計画段階からフェーズフリーの考え方を取り入れ、平時の機能で防災への意識や機能を高めるようにデザインされている「道の駅くるくるなと（徳島県）」
※写真提供：鳴門市

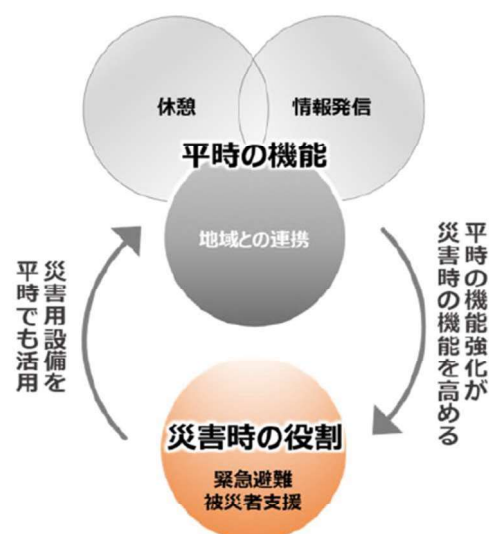


図 道の駅におけるフェーズフリー概念図と先進事例

出典：「道の駅」の防災機能向上のポイント（令和 6 年 6 月一部改訂、国立研究開発法人土木研究所）

(3) 利便性機能と交流・誘客機能に関する整理

その他、地域の個性に応じ導入が考えられる機能として、交流・誘客機能と利便性機能が考えられます。

2つの機能のうち、利便性機能として考えられるサービス向上機能は、新たな導入が必要であり、十分に検討を行い将来的に導入することとします。(第2期工事予定)

表 交流・誘客機能

要素	具体的なハード・ソフト施設例
誘客機能	温泉施設、キャンプ施設、スポーツ施設 売店、特産品販売
アクティビティ機能	芝生広場、テニスコート、アスレチック
滞在機能	宿泊施設（ロッジ・コテージ・オートロッジ）、 キャンプ場、RVパーク（車中泊駐車場）

黒字：既存の内容 青字：既存の改修 赤字：新たな導入



表 利便性機能

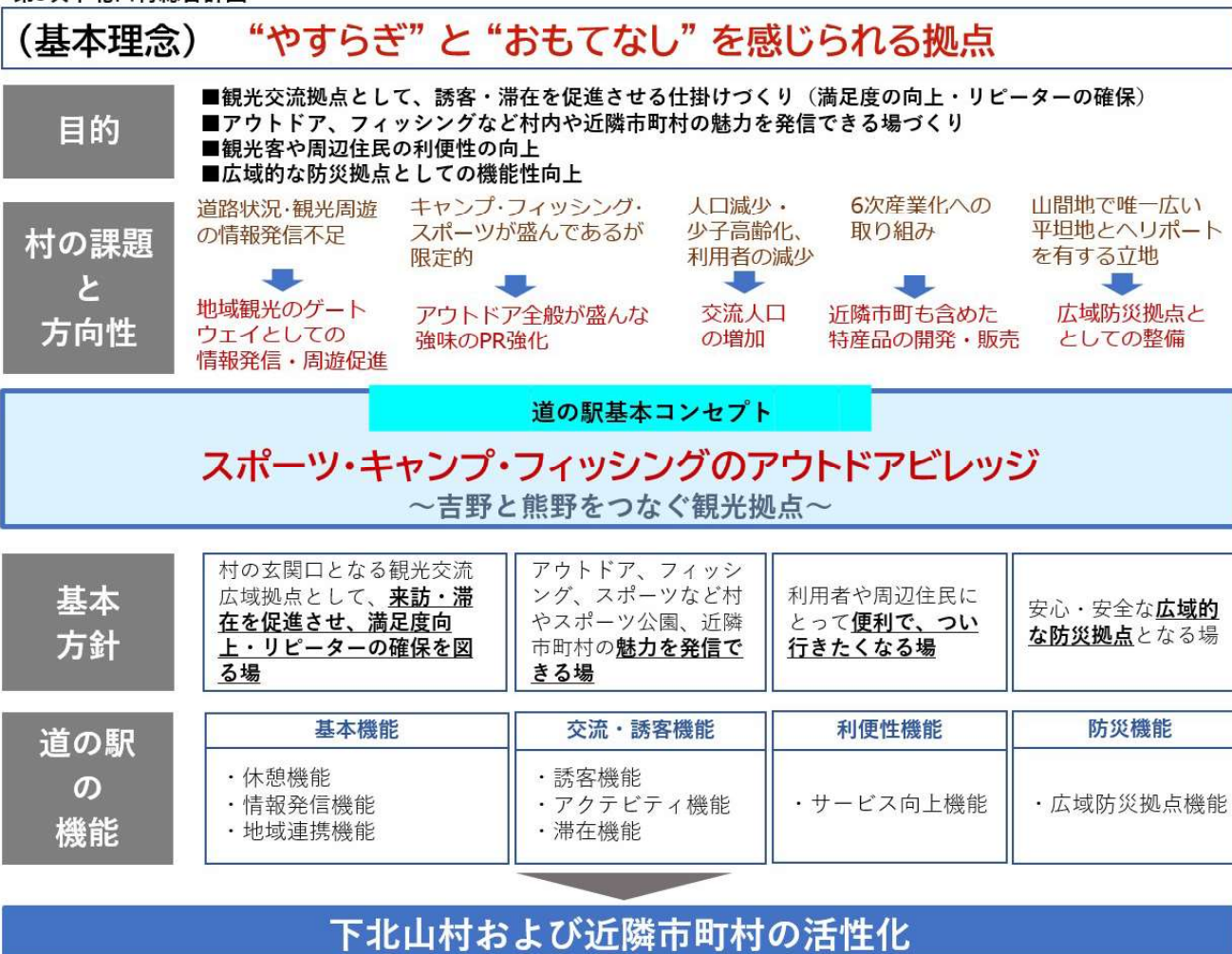
要素	具体的なハード・ソフト施設例
サービス向上機能	販売機能（小売店、カフェ、チャレンジショップ等）
	利便機能（コインランドリー等）

赤字：新たな導入

8.3. 基本コンセプト・基本方針

第3次下北山村総合計画の基本理念のもと、目的及び村の課題と方向性を踏まえ、道の駅整備のコンセプトを以下のとおり設定します。

第3次下北山村総合計画



8.4. 整備イメージ

8.4.1. 道の駅の整備イメージ

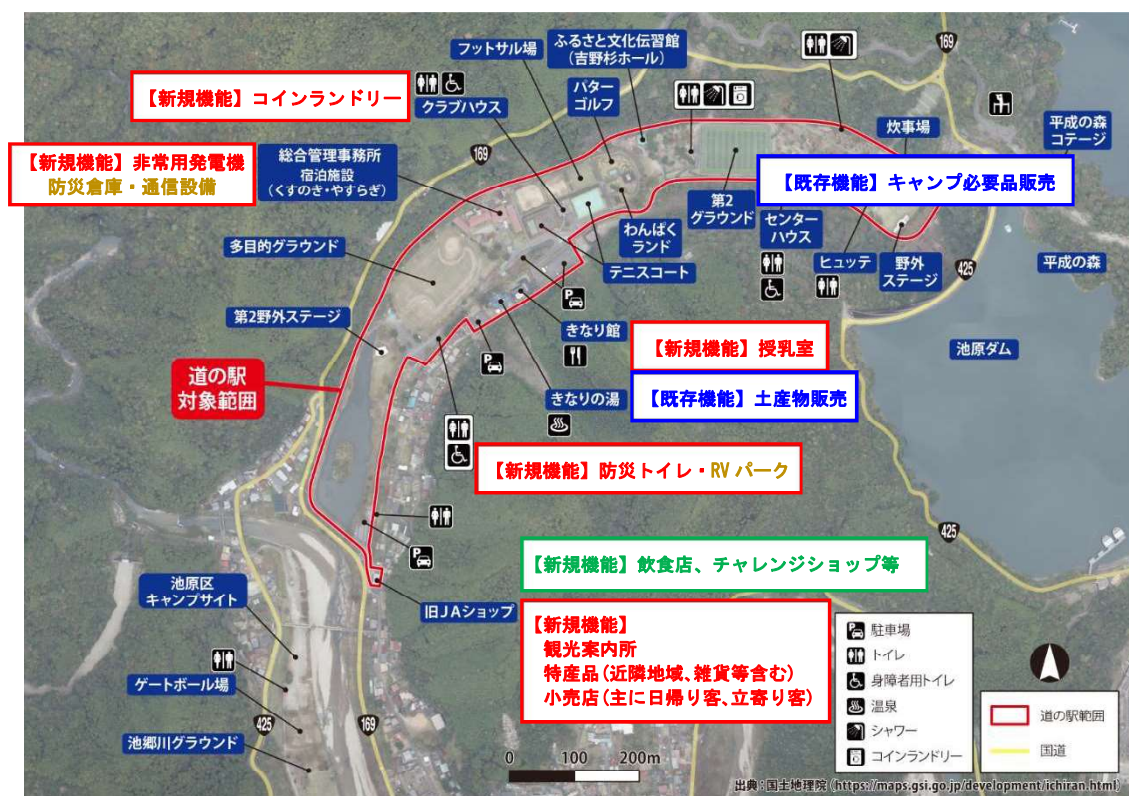
(1) 道の駅全体図

下北山スポーツ公園のうち、道の駅の対象範囲と既存施設の配置を以下に示します。



(2) 追加する機能全体図

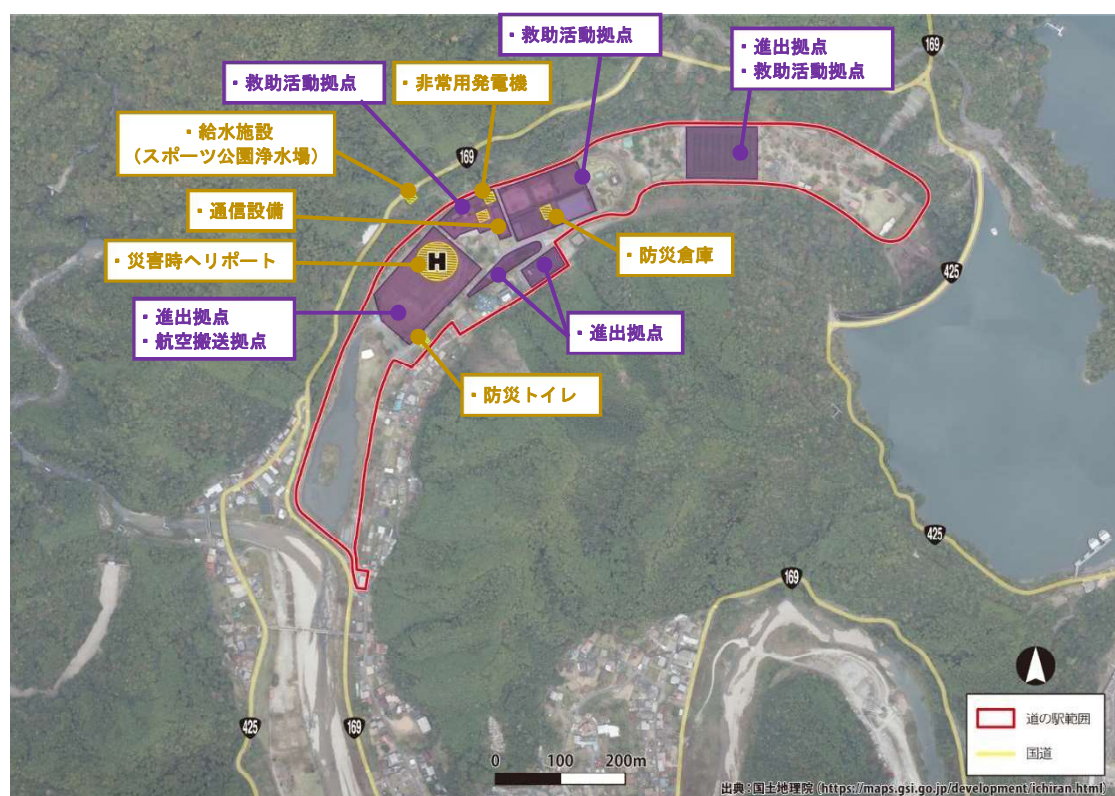
既存施設に追加する新規機能を以下に整理します。



赤字：令和7年度整備 橙字：令和8年度整備 緑字：令和9年度整備

(3) 追加する機能全体図（防災施設）

防災施設の全体図を以下に整理します。



注：進出拠点とは、最初に被災地に進出する時の目的となる地点。

(4) 整備イメージパース

■現況

(旧 JA ショップ)



■整備イメージ図（観光案内所、小売店（特産品等））



(5) 屋内配置ゾーニング図

JA ショップ跡地について、屋内配置の検討を行いました。

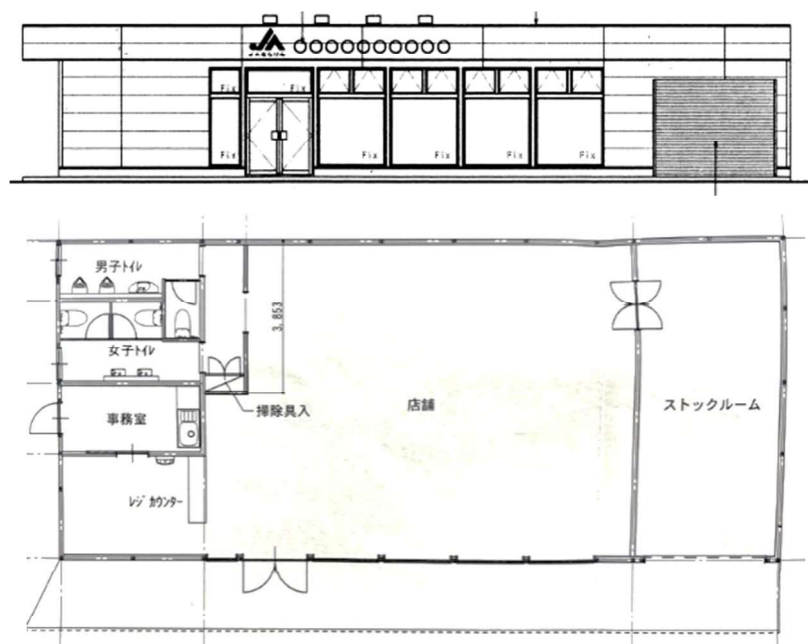
■旧 JA ショップと駐車場の位置図



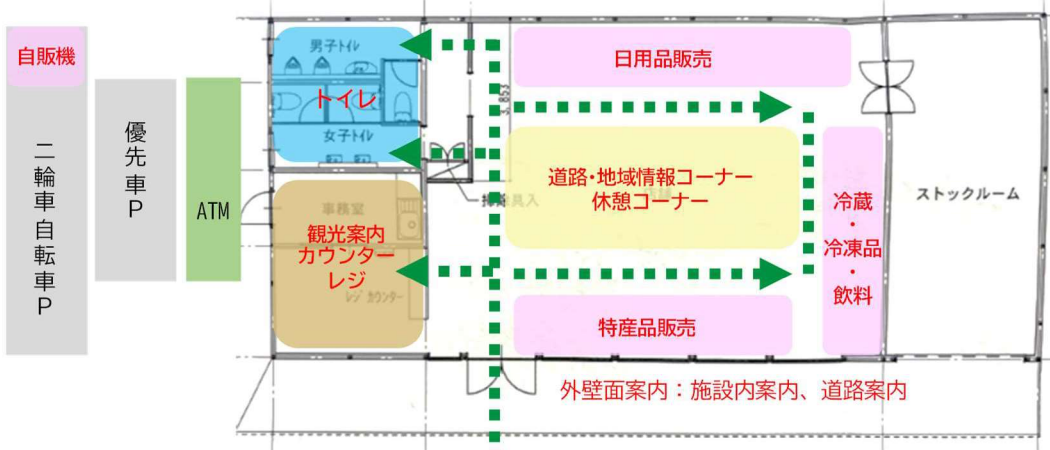
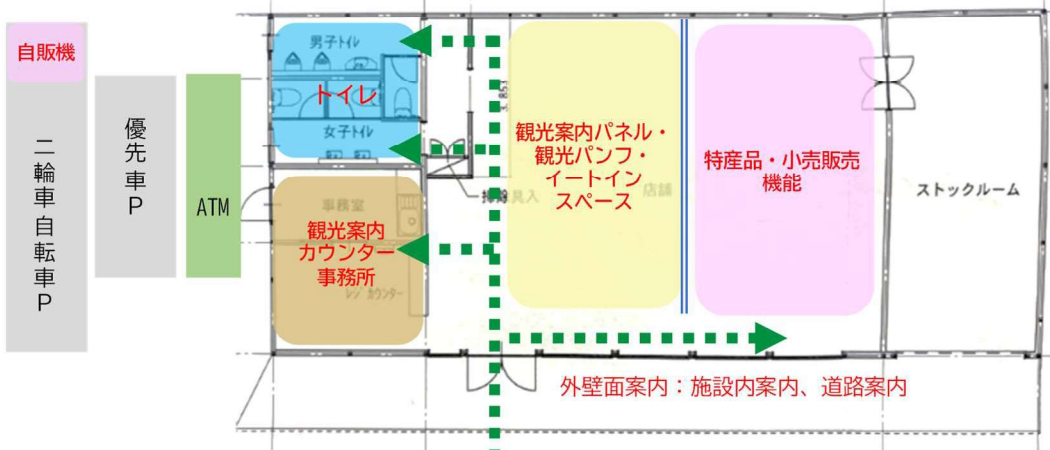
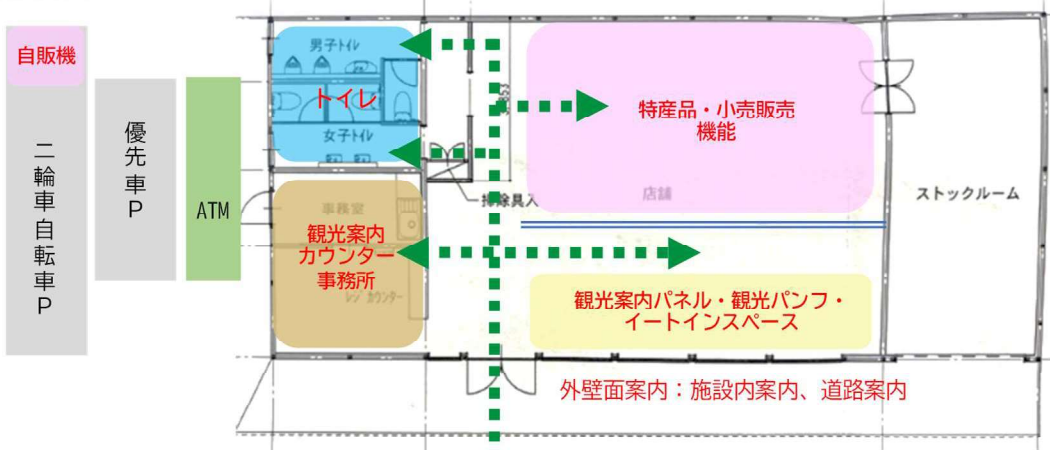
■旧 JA ショップ



■立面図・平面図



以下の3案にて比較検討を行いました。

A 案	■入口近くに観光案内を確保、中央に情報と休憩スペース、壁際に小売店スペースを配置 ■屋内施設は小売店営業時間（7～20 時）とする（又は小売店スペースは全て自販機として、24 時間営業とすることも考えられる）  自販機 二輪車自転車P 優先車P ATM 男子トイレ 女子トイレ 観光案内カウンター レジ 日用品販売 道路・地域情報コーナー 休憩コーナー 冷蔵・冷凍品・飲料 特産品販売 ストックルーム 外壁面案内：施設内案内、道路案内
B 案	■入口近くに観光案内と休憩スペースを確保、右奥に特産品・小売販売店スペースを配置 ■観光案内スペースと特産品・小売販売店スペースを区切ること、観光案内スペースを24 時間営業できる  自販機 二輪車自転車P 優先車P ATM 男子トイレ 女子トイレ 観光案内カウンター 事務所 観光案内パネル・観光パンフ・イートインスペース 特産品・小売販売機能 ストックルーム 外壁面案内：施設内案内、道路案内
C 案	■入口近くに観光案内と休憩スペースを確保、奥に特産品・小売販売店スペースを配置 ■観光案内スペースと特産品・小売販売店スペースを区切ること、観光案内スペースを24 時間営業できる  自販機 二輪車自転車P 優先車P ATM 男子トイレ 女子トイレ 観光案内カウンター 事務所 特産品・小売販売機能 観光案内パネル・観光パンフ・イートインスペース ストックルーム 外壁面案内：施設内案内、道路案内

8.4.2. 施設の整備イメージ

道の駅への導入が想定される施設について、整備イメージの例を以下に示します。

(1) 観光案内所

- ・観光案内所壁面に案内マップ掲示
- ・優先駐車場を案内所の前に整備



- ・建物内壁にインフォメーションボードを設置
- ・建物外壁沿いに自販機とベンチを設置



道の駅クロスウェイなかもち（奈良）

(2) 道路・地域情報コーナー

- ・道路情報、観光情報など分けて展示



道の駅みなの（埼玉）

- ・周辺の自治体の広域情報の紹介コーナー



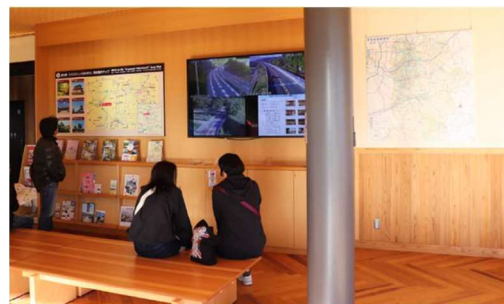
道の駅ふくしま（福島）

- ・地域の人おすすめの観光カードの設置



道の駅もがみ（山形）

- ・周辺自治体の案内、道路情報、県内マップ



道の駅クロスウェイなかもち（奈良）

(3) 特産品販売所

・新鮮野菜や地元特産品、道の駅オリジナルグッズ直売



道の駅きつれがわ（栃木）

・特産品ショップ



道の駅とよはし（愛知）

・特産品ショップ



道の駅たがみ（沖縄）

・農産物・特産品直売所



道の駅クロスウェイなかまち（奈良）

(4) コインランドリー



道の駅清流の里ひじかわ（愛媛）



(5) 子育て支援施設

- ・ボックスタイプの置き型の授乳室



大阪モノレールの改札前

- ・国産杉材で作られた環境にやさしい設置型授乳室



ヤンマースタジアム長居（長居公園 HP）



(6) RV パーク



道の駅越前おおの荒島の郷の RV パーク（福井）
（電源付・無の区画、ペット同伴可）

RVパークのご予約

道の駅越前おおの 荒島の郷

ご予約 ご利用約款 ご予約のキャンセル RVパーク ホーム

▼ご予約>

ご予約には、RVパークのご利用約款、プライバシーポリシーにご同意いただく必要があります。
ご予約の前に必ずご確認ください。

ご利用約款はこちら プライバシーポリシーはこちら

1回のご予約で1区画の申し込みとなります。
チェックインは17時までにお済ませください。（それ以降はチェックインが出来ませんのでご注意ください。）
複数の区画をご予約いただく場合、区画数分それぞれご予約ください。
または、ご予約の際に追加の区画数、それぞれのご利用人数を備考欄にご記入いただきお知らせいただけます。
（また、この時点ではご予約確定はいたしていません）区画の空きを確認しこちらから改めてご予約確定のご連絡をさせていただきます。
※ご予約のタイミングにより区画に空きがなくなる場合がございます。予めご了承ください。

※ご宿泊の際はアイドリングストップの徹底をお願いします。
※降雪量の多い地域のため、冬期は休業いたします。（冬期営業につきましてはお気軽にお問い合わせ下さい）
※休業期間外であっても、積雪状況によっては、ご予約確定後にご宿泊をお断りする場合がございますのでご了承ください。（当道の駅よりご連絡いたします。）

検索

チェックイン チェックアウト ご利用人数

営業日カレンダー

ハイシーズン 営業休止期間

24年2月	24年3月	24年4月	24年5月
日 月 火 水 木 金 土 日	日 月 火 水 木 金 土 日	日 月 火 水 木 金 土 日	日 月 火 水 木 金 土 日
1 2 3	1 2	1 2 3 4 5 6	1 2 3 4
4 5 6 7 8 9 10	3 4 5 6 7 8 9	7 8 9 10 11 12 13	5 6 7 8 9 10 11
11 12 13 14 15 16 17	10 11 12 13 14 15 16	14 15 16 17 18 19 20	12 13 14 15 16 17 18
18 19 20 21 22 23 24	17 18 19 20 21 22 23	21 22 23 24 25 26 27	19 20 21 22 23 24 25
25 26 27 28 29	24 25 26 27 28 29 30	28 29 30	26 27 28 29 30 31
	31		23 30

● ● ● ●

（ネット予約画面）

(7) 防災施設

- ・ 防災倉庫（食料、飲料水、毛布等）



- ・ 給水施設



- ・ 非常用発電機（連続運転可能時間 72 時間以上）



- ・ 通信設備



- ・ 防災トイレ（スツールは通常利用可）



(8) 案内サイン

- ・ 視認性のよい道の駅の案内サイン



- ・ ピクトグラムを活用した、一目でわかる案内サイン



9. 整備・管理運営方法

9.1. 管理運営手法の検討

- 道の駅の管理運営方法としては、直営方式、委託方式（民間）、指定管理（第3セクター／民間）が考えられます。
- 現在の下北山スポーツ公園は第3セクターであり、行政や地元との連携が図りやすい一方、運営ノウハウが不足する可能性があり、民間の場合、運営ノウハウは得られやすいが、公益性より収益性が重視されがちで、進出可能な事業者が限定される恐れがあります。
- 本事業では第3セクターによる運営を念頭に、想定される団体との協議を重ね、運営主体のあり方を今後、具現化していく必要があります。

※以下の比較表を参考に今後検討していきます。

例えば、現在のスポーツ公園の課題である「情報提供」等のソフト施策の民間連携等

事業手法		直営方式	委託方式（民間）	指定管理	
				第3セクター	民間
財政的負担 ランニングコスト削減		民間ノウハウが活用できないため、ランニングコスト削減は望めない	運営・維持管理において、委託の範囲内において民間ノウハウが発揮されるため、ランニングコストの削減が多少発揮される	民間ノウハウが発揮されるため、ランニングコストの削減が期待できる	
		△	○	○	
事業リスク 村の負担 リスク削減		村がすべてのリスクを負担する	村がすべてのリスクを負担する	運営・維持管理についてリスク分担ができる	
		△	△	○	
サービス向上	民間ノウハウの活用	民間ノウハウが活用できない	民間ノウハウが発揮できるが、委託範囲内に限られる	設置目的の範囲内で運営・維持管理、自主事業等が実施可能なため、民間ノウハウが発揮できる	
		△	△	○	
	行政との連携	村が直営にて運営・維持管理を行うため、行政の意向を直接反映できる	事業者の利益が優先され、公益性が希薄になりやすい	村が設置目的の策定、出資するため村と連携しやすい	事業者の利益が優先され、公益性が希薄になりやすい
		◎	△	○	△

※現在、スポーツ公園は第3セクターによる指定管理制度を採用している

今までの実績や、民間ノウハウを活用した効率的な管理運営を図るため、**第3セクターによる指定管理を採用**し、販売所やアクティビティの運営などの一部事業は、テナント方式・運営委託方式を採用することも検討していく

9.2. 管理運営業務の体制

- 下図の業務体制が考えられます。施設の内容等に応じ、指定管理を行う事業者と詳細に検討していく必要があります。

